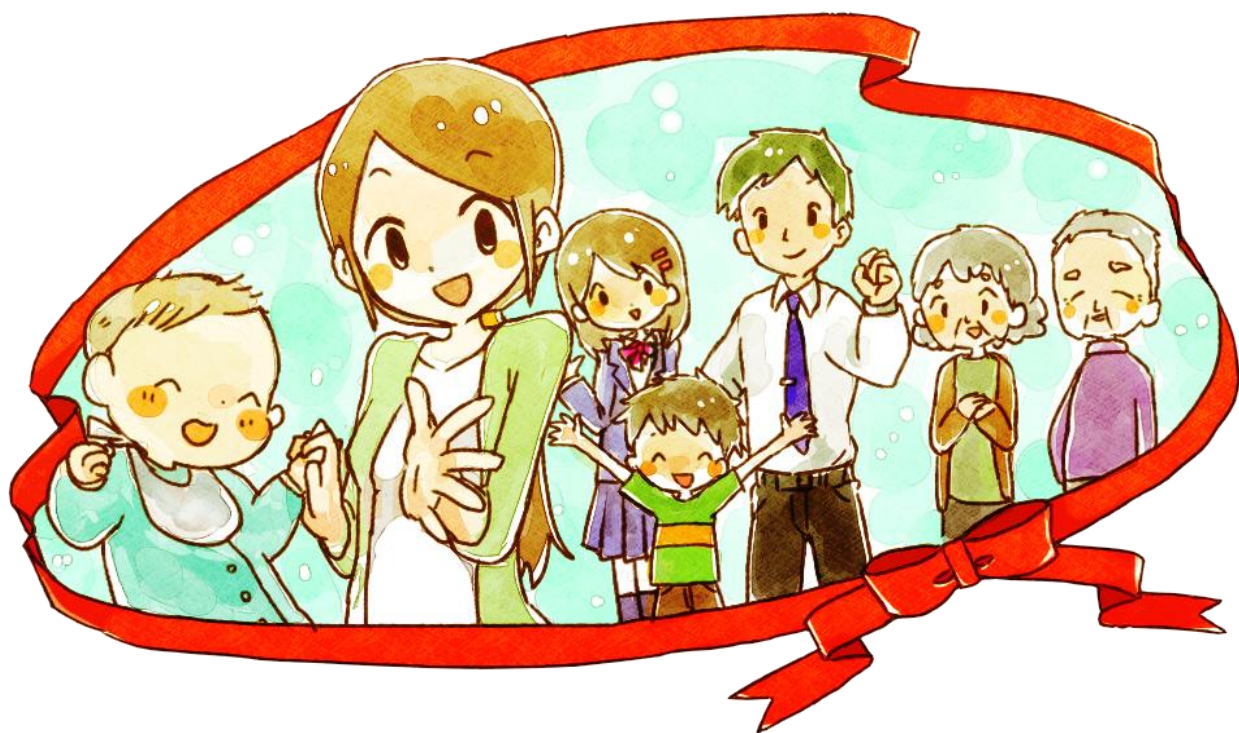


柏市母子保健計画 最終評価

親子がともに健やかに育つまち柏



令和8年3月
柏市

目次

第1章	はじめに	1
1	柏市母子保健計画について	1
2	推進施策の体系	1
3	推進事業一覧	2
第2章	柏市の母子保健の現状	6
1	人口の状況	6
(1)	人口の推移	6
(2)	未就学児（6歳未満）世帯員のいる核家族世帯割合	6
(3)	社会動態（転入・転出）の推移	7
(4)	外国人人口の割合の推移	7
(5)	出生数と出生率の推移	8
(6)	合計特殊出生率	8
2	人口動態総覧	9
(1)	人口動態総覧の対県，全国比較（令和5年）	9
(2)	人口動態総覧の推移（柏市）	10
第3章	母子保健計画の最終評価	11
1	最終評価の目的・方法	11
(1)	最終評価の目的	11
(2)	最終評価の方法	11
2	最終評価の策定体制	11
3	柏市母子保健計画に関する調査概要（令和6年度市民アンケート調査）	11
(1)	調査目的	11
(2)	調査時期	11
(3)	調査対象と方法	12
(4)	配付・回答結果	12
(5)	アンケート設問一覧	12
4	最終評価（総括）	15
5	38指標の評価	18
(1)	評価の概要	18
(2)	施策分野別・指標種類別の評価状況	18
(3)	基本目標・施策分野別・種類別指標一覧	19
(4)	指標の達成状況と評価	20
6	基本目標・施策分野別の評価	22
(1)	指標の評価	22
(2)	成果と課題	22
(3)	事業評価	22
	基本目標1 安心した妊娠・出産と心ゆたかに子育てができるまち	23

施策分野（１）切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援.....	23
（１）指標の評価.....	23
（２）成果と課題.....	24
（３）事業評価.....	26
基本目標１ 安心した妊娠・出産と心ゆたかに子育てができるまち.....	29
施策分野（２）妊娠期からの児童虐待防止対策.....	29
（１）指標の評価.....	29
（２）成果と課題.....	30
（３）事業評価.....	30
基本目標２ 子どもの育ちと子育てを支え合うまち.....	33
施策分野（１）子育て・子育て・親育ちの支援.....	33
（１）指標の評価.....	33
（２）成果と課題.....	34
（３）事業評価.....	35
基本目標２ 子どもの育ちと子育てを支え合うまち.....	39
施策分野（２）健やかな体と心をつくる学びの推進.....	39
（１）指標の評価.....	39
（２）成果と課題.....	40
（３）事業評価.....	41
基本目標３ 配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支えあうまち.....	43
施策分野（１）配慮が必要な子ども及び配慮が必要な子育て家庭への切れ目のない支援.....	43
（１）指標の評価.....	43
（２）成果と課題.....	44
（３）事業評価.....	44
第４章 今後の母子保健事業について.....	48
第５章 参考.....	49
１ 柏市保健衛生審議会母子保健部会委員名簿.....	49
２ 令和６年度柏市母子保健計画に関する調査結果（概要）.....	50

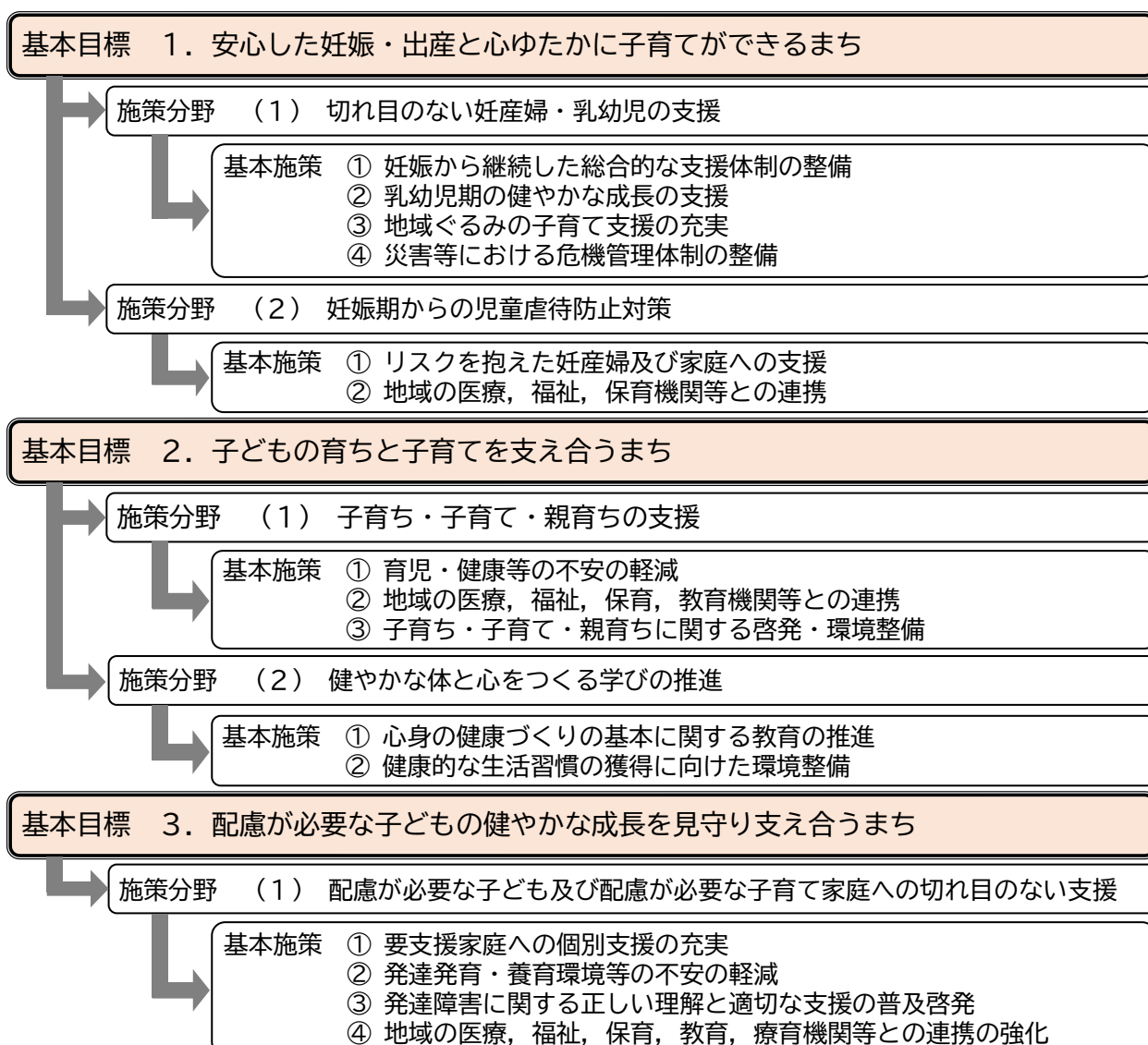
第1章 はじめに

1 柏市母子保健計画について

柏市では、柏市母子保健計画に基づき、妊娠・出産・子育てに関する現状及び課題に即した母子保健施策の位置づけや方向性を示し、子どもを健やかに産み育てる柏市を目指し、計画を推進してきました。柏市母子保健計画は、平成28年度から令和7年度までを計画期間としており、令和7年度が計画期間の最終年度となっています。そのため、最終的な計画の達成状況及び現状の課題を把握し、最終評価を行いました。

また、令和5年3月、国では「成育医療等基本方針に基づく評価指標」を策定し、母子保健計画に代わり、成育医療等の提供に関する施策の策定・実施・評価に積極的に取り組むよう求めており、柏市母子保健計画の最終評価結果を踏まえて、令和8年度から用いる新たな評価指標の策定を行いました。

2 推進施策の体系



3 推進事業一覧

基本目標	施策分野	基本施策	事業	担当部	担当課	
1. 安心した妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち	1 (1) 切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援	妊婦から継続した総合的な支援体制の整備 1 (1) ①	利用者支援事業(母子保健型) 子育て世代包括支援センター運営事業	こども部	母子保健課	
			利用者支援事業(基本型) はぐはぐひろば沼南, はぐはぐひろば柏たなか		子育て支援課	
			ママパパサロン		母子保健課	
			不妊に悩む方への特定治療支援事業			
			乳児家庭全戸訪問事業			
			子育て電話相談(にこにこダイヤルかしわ)			
			子育て支援事業(母と子のつどい)	健康医療部	健康増進課	
			保健栄養事業	こども部	母子保健課	
			地域保健推進に関する人材育成		こども相談センター	
			家庭児童相談事業(子ども家庭総合支援拠点)		こども福祉課	
		母子・父子自立支援相談事業				
		乳幼児の健やかな成長の支援 1 (1) ②	妊婦・乳児一般健康診査助成事業	こども部	母子保健課	
			新生児聴覚検査費用助成事業			
			乳児家庭全戸訪問事業(再掲)			
			幼児健康診査(1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査・ひよこルーム)			
			8か月児相談事業	健康医療部	健康増進課	
			予防接種等事業	消防局	救急課	
		地域ぐるみの子育て支援の充実 1 (1) ③	子育て支援事業(母と子のつどい)(再掲)	健康医療部	健康増進課	
			柏市民健康づくり推進員活動(母と子のつどい含む)	こども部	子育て支援課	
			ファミリー・サポート・センター事業			
			子育て支援者の育成・ネットワーク事業			
			子育て短期支援事業		こども相談センター	
			公立保育園における通常保育事業		保育運営課	
			一時保育事業		子育て支援課	
			保育士確保事業		保育運営課	
			ブックスタート事業	教育委員会生涯学習部	図書館	
			防災等に関する普及啓発 1 (1) ④	防災等に関する普及啓発	こども部	母子保健課
				発災後の母子支援に関する仕組みづくり		
防災知識の普及に関する事業	危機管理部	防災安全課				

基本目標	施策分野	基本施策	事業	担当部	担当課		
1. 安心して妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち	1 (2) 妊娠期からの児童虐待防止対策	1 (2) ① リスクを抱えた妊産婦及び 家庭への支援 地域の医療・福祉 保育機関等 との連携	利用者支援事業(母子保健型):子育て世代包括支援センター運営事業(再掲)	こども部	母子保健課		
			特定妊婦・要支援家庭への支援事業				
			産後ケア事業				
			要保護児童対策事業(要保護児童対策地域協議会)				
			養育支援訪問事業				
			母子・父子自立支援相談事業(再掲)				
男女共同参画推進のための相談事業	企画部	共生・交流推進センター					
2. 子どもの育ちと子育てを支え合うまち	2 (1) 子育て・子育て・親育ちの支援	2 (1) ① 育児・健康等の不安の 軽減 地域の医療・福祉 保育機関等 との連携	子育て電話相談(にこにこダイヤルかしわ)(再掲)	こども部	母子保健課		
			母子保健推進事業(電子親子手帳サービス・母子保健啓発等)				
			幼児健康診査(1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査・ひよこルーム)(再掲)				
			8か月児相談事業(再掲)				
			病児保育事業			保育運営課	
			特定妊婦・要支援家庭への支援事業(再掲)			こども部	母子保健課
2 (1) ② 幼保こ小連携の推進	教育委員会 学校教育部	教育研究所					
2 (1) ③ 子育て・子育て・親育ちに関する啓発・環境整備	2 (1) ③ 子育て・子育て・親育ちに関する啓発・環境整備	2 (1) ③ 子育て・子育て・親育ちに関する啓発・環境整備	B P プログラム, ペアレントプログラム	こども部	子育て支援課		
			地域子育て支援拠点(はぐはぐひろば)事業				
			地域子育て支援拠点事業(地域子育て支援センター)			保育運営課	
			子育て支援者の育成・ネットワーク事業(再掲)			子育て支援課	
			子育て支援情報提供事業			こども政策課	
			児童センターの管理運営事業			子育て支援課	
			「みんなの子育て広場」支援事業			教育委員会 生涯学習部	生涯学習課
			妊婦・乳児一般健康診査助成事業(再掲)			こども部	母子保健課
			幼児健康診査(1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査・ひよこルーム)(再掲)				
			8か月児相談事業(再掲)				
利用者支援事業(母子保健型):子育て世代包括支援センター運営事業(再掲)							
母子保健推進事業(電子親子手帳サービス・母子保健啓発等)(再掲)							

基本目標	施策分野	基本施策	事業	担当部	担当課			
2. 子どもの育ちと子育てを支え合うまち	2(2) 健やかな体と心をつくる学びの推進	のにつづく心身の健康① の関する教育基本	思春期保健事業	こども部	母子保健課			
			エイズ・性感染症予防事業	健康医療部	保健予防課			
			いのちの教育の推進	教育委員会 学校教育部	学校教育課			
		健康的な生活習慣の獲得に向けた環境整備	母子保健推進事業（電子親子手帳サービス・母子保健啓発等）（再掲）	こども部	母子保健課	保健栄養事業（再掲）	健康医療部	健康増進課
						思春期保健事業（再掲）		
						母子歯科保健事業		
						成人歯科保健事業（かしわ歯科相談室）		
			健康教育	こども部	母子保健課			
			ウォークの推進	健康医療部	健康増進課	栄養指導事業		
			タバコ対策（受動喫煙対策）					
			エイズ・性感染症予防事業（再掲）					
			精神保健福祉の推進（アルコール関連事業）					
			いのちの教育の推進（再掲）	教育委員会 学校教育部	学校教育課			
			食育の推進（子ども健康プロジェクト）		学校給食課			
			地域スポーツの推進	市民生活部	スポーツ課			

基本目標	施策分野	基本施策	事業	担当部	担当課
3. 配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支え合おう	3(1) 配慮が必要な子ども及び配慮が必要な子育て家庭への切れ目のない支援	3(1) ① 要支援家庭への個別支援の充実	家庭児童相談事業（子ども家庭総合支援拠点）（再掲）	こども部	こども相談センター
			要保護児童対策事業（要保護児童対策地域協議会）		
			ペアレントトレーニング		
			発達相談		母子保健課
			外来療育相談支援（集団・個別）事業		
			特定妊婦・要支援家庭への支援事業（再掲）		こども発達センター
			1歳6か月児健康診査事後集団指導事業（ひよこルーム）		
			産前・産後サポート事業アウトリーチ型（妊娠子育てサポート事業）		母子保健課
		医療的ケア等支援事業（障害児等医療的ケア支援連絡会、喀痰吸引等従事ヘルパー育成）	福祉部	障害福祉課	
		3(1) ② 発達発育・養育環境等の不安の軽減	特定妊婦・要支援家庭への支援事業（再掲）	こども部	母子保健課
			小児慢性特定疾病医療支援事業		
			多胎家庭への支援		
			未熟児・低体重出生児の管理		
			養育医療給付事業		
			発達相談（再掲）		
			地域子育て支援拠点（はぐはぐひろば）事業（再掲）		
		地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）（再掲）	保育運営課		
3(1) ③ 発達障害に関する適切な支援の普及啓	障害児等療育支援事業（巡回相談）	こども部	こども発達センター		
	3(1) ④ 地域の医療、福祉、保育、教育、療育機関等との連携の強化	保育所等訪問支援事業	こども部	こども発達センター キッズルーム	
就学相談		教育委員会 学校教育部	児童生徒課		
母子歯科保健事業（再掲）		こども部	母子保健課		

※担当部・担当課は、令和7年度時点の名称となっています。

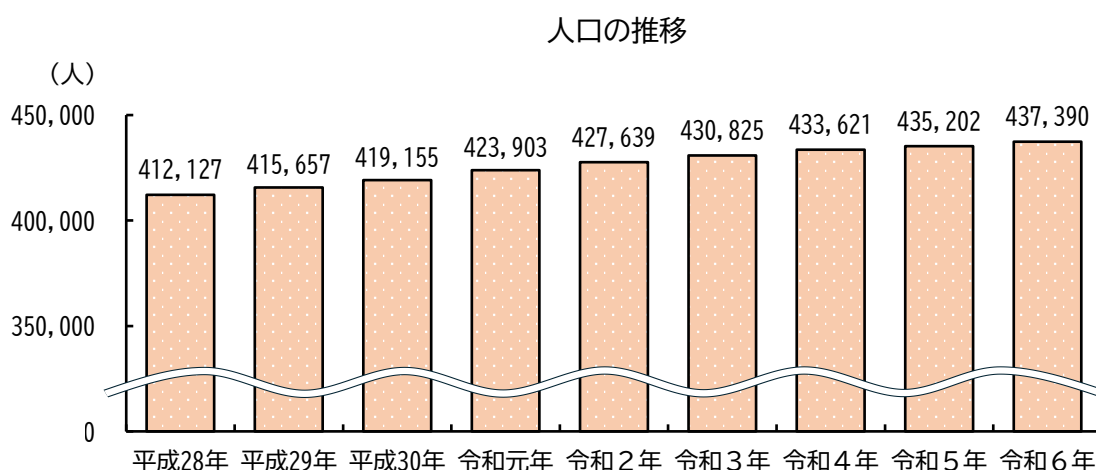
また、既に終了している事業を含みます。

第2章 柏市の母子保健の現状

1 人口の状況

(1) 人口の推移

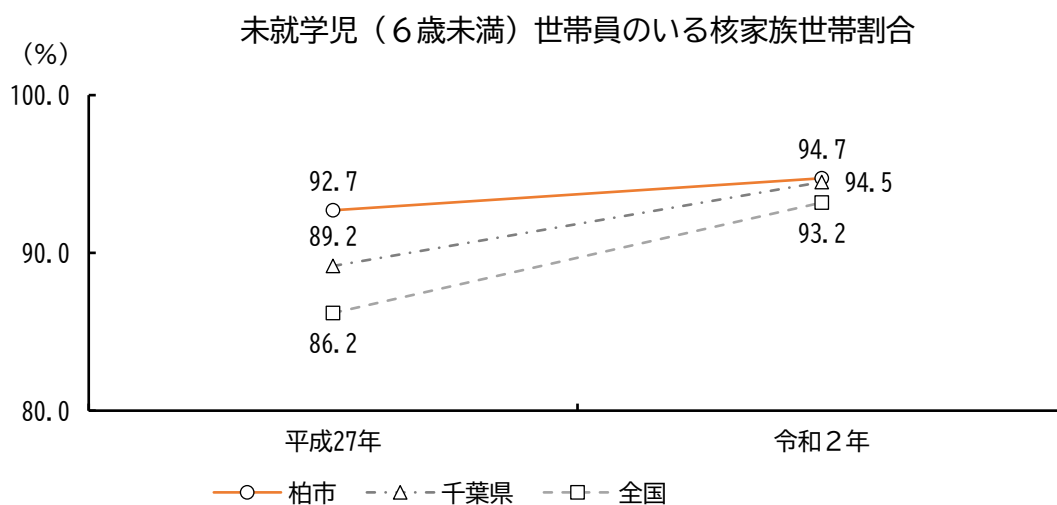
本市の人口は、平成28年では412,127人でしたが、令和6年には437,390人となり年々増加しています。



資料：住民基本台帳（各年9月30日現在）

(2) 未就学児（6歳未満）世帯員のいる核家族世帯割合

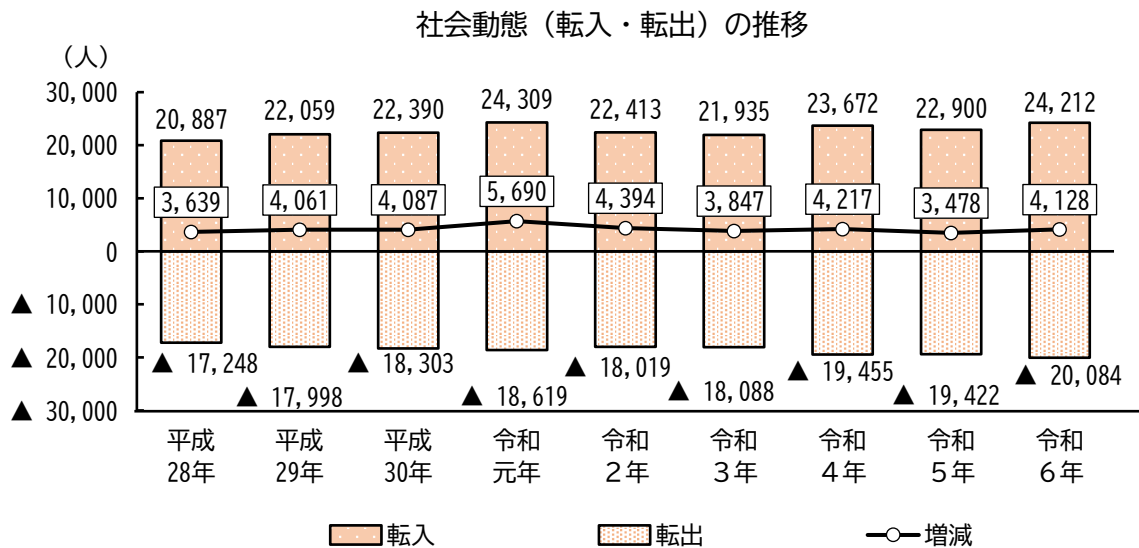
本市の未就学児（6歳未満）世帯員のいる核家族世帯割合は、令和2年で94.7%であり、全国、千葉県と比較すると、**高くなっています**。



資料：国勢調査

(3) 社会動態（転入・転出）の推移

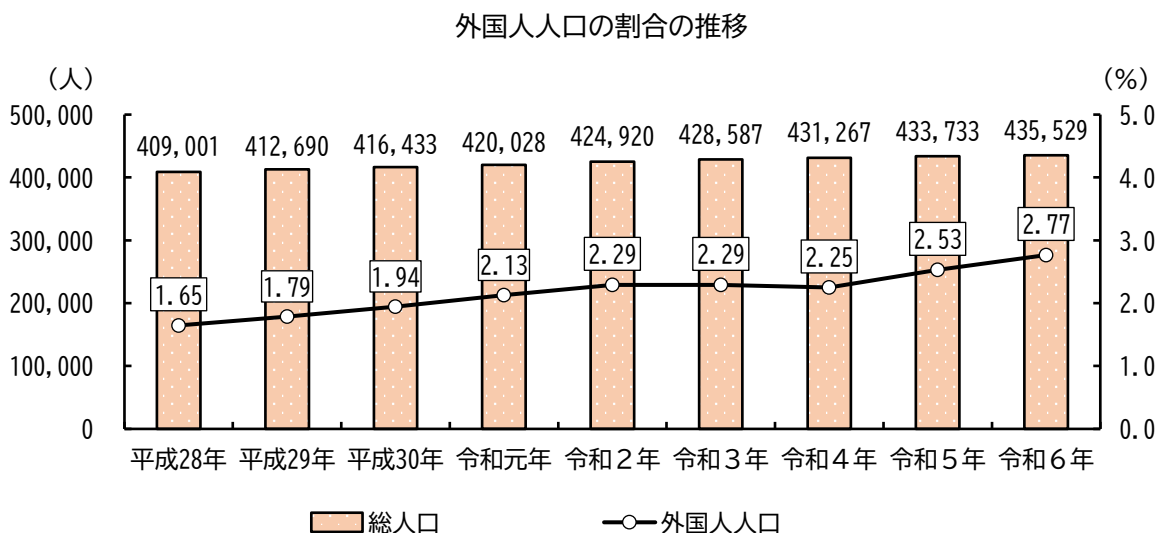
平成28年から令和6年の社会動態（転入・転出）の推移をみると、転入が転出を上回っています。



資料：千葉県毎月常住人口調査結果報告書

(4) 外国人人口の割合の推移

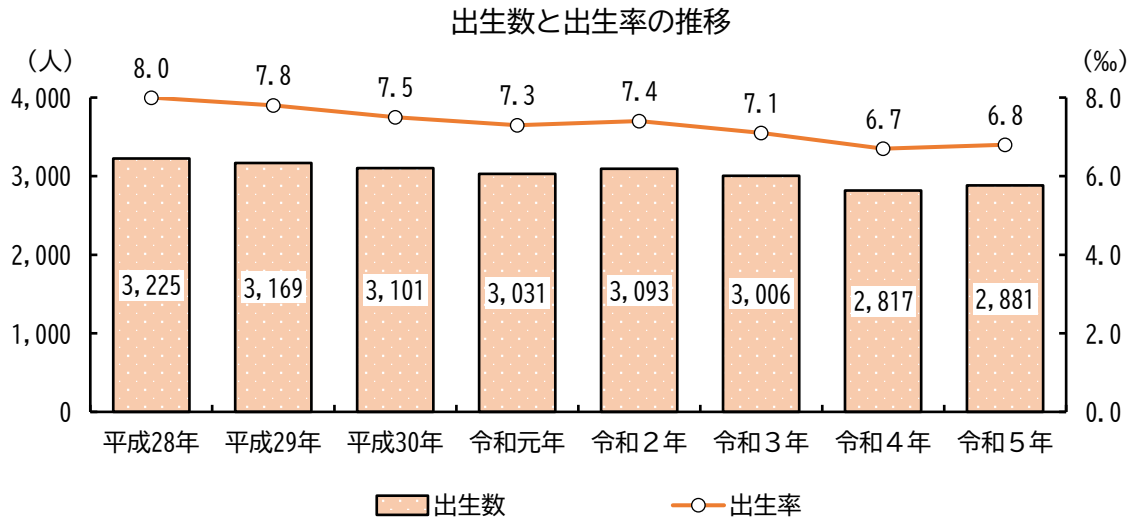
外国人人口の割合は、平成28年以降増加傾向にあります。



資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査
(総務省, 各年1月1日現在)

(5) 出生数と出生率の推移

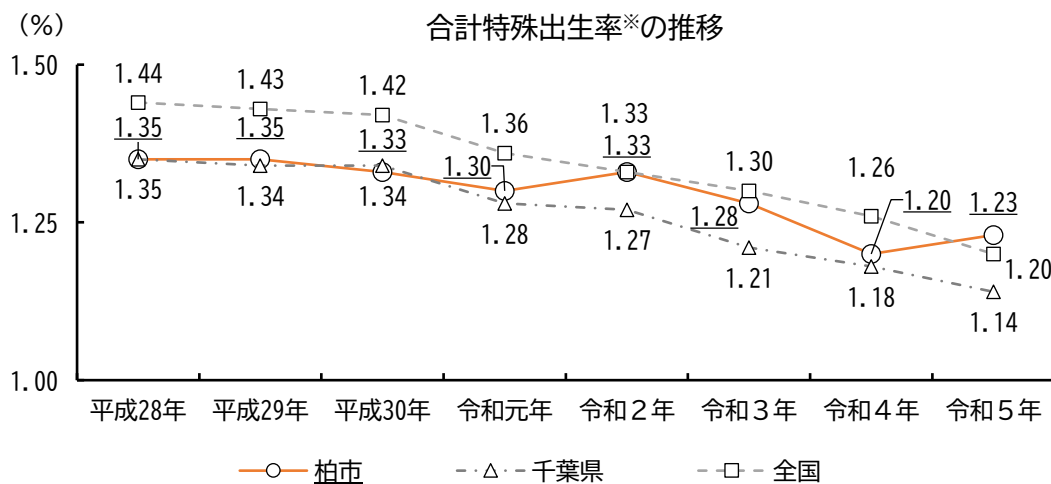
本市の出生数は、平成28年では3,225人でしたが、令和5年には2,881人となり減少傾向にあります。出生率（人口千対）も、平成28年では8.0でしたが、令和5年には6.8となり減少傾向にあります。



資料：人口動態統計

(6) 合計特殊出生率

本市の合計特殊出生率は、平成28年では1.35でしたが、令和5年には1.23となり減少傾向にあります。全国、千葉県と比較すると、高くなっています。



資料：人口動態統計

※「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、一人の女性とその年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときのこどもの数に相当します。

2 人口動態総覧

(1) 柏市と千葉県・全国の比較（令和5年）

単位：人、‰

	柏市	千葉県	全国
出生数	2,881	35,658	727,288
出生率（人口千対）	6.80	5.90	6.00
合計特殊出生率	1.23	1.14	1.20
乳児死亡数	1	75	1,326
乳児死亡率（出生千対）	0.35	2.10	1.80
新生児死亡数（生後4週未満死亡）	1	34	600
新生児死亡率（出生千対）	0.35	1.00	0.80
自然死産数	24	379	7,152
自然死産率（出産千対）	8.19	10.40	9.60
人工死産数	25	397	8,382
人工死産率（出産千対）	8.53	10.90	11.30
周産期死亡数	8	133	2,404
周産期死亡率 （出生数に妊娠満22週以後の死産数を加えたものの千対の死亡率）	2.77	3.70	3.30
妊娠満22週以降の死産数	7	110	1943
早期新生児死亡数 （生後1週未満の死亡）	1	23	461
婚姻数	1,531	23,251	474,741
婚姻率（人口千対）	3.60	3.80	3.90
離婚数	679	9,151	183,814
離婚率（人口千対）	1.60	1.50	1.52

資料：人口動態調査、柏市統計書（令和6年度版）

(2) 人口動態総覧の推移（柏市）

単位：人、%

	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年
出生数	3,225	3,169	3,101	3,031	3,093	3,006	2,817	2,881
出生率（人口千対）	8.00	7.80	7.50	7.30	7.40	7.10	6.70	6.80
合計特殊出生率	1.35	1.35	1.33	1.30	1.33	1.28	1.20	1.23
乳児死亡数	7	10	4	6	8	5	6	1
乳児死亡率（出生千対）	2.20	3.20	1.30	2.00	2.60	1.70	2.13	0.35
新生児死亡数（生後4週未満死亡）	5	6	2	3	6	2	1	1
新生児死亡率（出生千対）	1.55	1.89	0.64	1.00	1.94	0.67	0.35	0.35
自然死産数	35	41	28	27	32	23	34	24
自然死産率（出産千対）	10.85	12.94	9.03	8.70	10.10	7.53	11.77	8.19
人工死産数	32	31	30	45	43	25	37	25
人工死産率（出産千対）	9.72	9.56	9.50	14.50	13.57	8.19	12.81	8.53
周産期死亡数	13	14	5	9	23	7	11	8
周産期死亡率 （出生数に妊娠満22週以後の死産 数を加えたものの千対の死亡率）	4.02	4.41	1.61	2.96	7.41	2.32	3.89	2.77
妊娠満22週以降の死産数	10	10	4	8	17	6	10	7
早期新生児死亡数 （生後1週未満の死亡）	3	4	1	1	6	1	1	1
婚姻数	1,875	1,898	1,841	1,881	1,757	1,647	1,669	1,531
婚姻率（人口千対）	4.6	4.6	4.5	4.50	4.20	3.90	3.90	3.60
離婚数	694	716	699	700	645	634	654	679
離婚率（人口千対）	1.70	1.80	1.70	1.70	1.50	1.50	1.60	1.60

資料：人口動態調査、柏市統計書（令和6年度版）

第3章 母子保健計画の最終評価

1 最終評価の目的・方法

(1) 最終評価の目的

母子保健計画の有効性，妥当性という観点を踏まえ，個々の施策や数値目標，目指すべき姿への達成状況の評価を行います。

(2) 最終評価の方法

- (ア) 各種データより柏市の母子保健の現状を分析
- (イ) 市民のニーズ調査（柏市母子保健計画に関する調査等）の実施
- (ウ) 柏市母子保健計画に関する評価指標（以下、「38指標」という。）の評価
- (エ) 事業評価の実施

2 最終評価の策定体制

本計画の最終評価にあたっては，令和6年10月から実施した柏市母子保健計画に関する調査において，市民の意見を聴取しました。また，柏市の人口動態調査や母子保健分野における各種データより柏市で暮らす親子が置かれている現状を把握するとともに，庁内及び庁外関係機関・部局間で調整を図った上で，柏市保健衛生審議会母子保健部会（旧名称：母子保健専門分科会）における協議及び助言を踏まえ，最終評価を実施しました。

3 柏市母子保健計画に関する調査概要（令和6年度市民アンケート調査）

(1) 調査目的

計画の最終評価にあたり，柏市の母子保健に関するサービス等の利用状況，質的及び量的なニーズを把握することを目的としています。

(2) 調査時期

令和6年10月～12月

アンケート調査結果の概要は，本紙 P50～54に掲載しています。

(3) 調査対象と方法

3種類のアンケートによる質問紙調査を実施

調査の種類	対象者	実施方法
3～6か月児調査	月齢3～6か月となる児をもつ保護者	郵送による配布・返信用封筒で返送もしくは二次元バーコードからの回答
1歳6か月児調査	1歳6か月児健康診査を受診した保護者	郵送による配布，健康診査会場にて回収
3歳児調査	3歳児健康診査を受診した保護者	郵送による配布，健康診査会場にて回収

(4) 配付・回答結果

調査票種別	配布数(a)	回収数(b)	回収率 (b/a)
3～6か月児調査	915件	504件	55.1%
1歳6か月児調査	512件	463件	90.4%
3歳児調査	586件	474件	80.9%
計	2,013件	1,441件	71.6%

(5) アンケート設問一覧

設問		調査の種類			指標番号 (38指標)
		3か月～ 6か月児	1歳 6か月児	3歳児	
ア 回答者 属性	問 居住地	○	○	○	
	問 性別	○	○	○	
	問 子どもとの関係	○	○	○	
	問 年齢	○	○	○	
	問 職業	○	○	○	
	問 柏市での居住年数	○	○	○	
	問 回答者を除く同居家族人数	○	○	○	
	問 同居している子どもの人数	○	○	○	
イ 子ども について	問 子どもの月齢	○			
	問 子どもの出生順位	○	○	○	
	問 子どもの性別	○	○	○	
ウ 妊娠， 出産時 の状況	問 妊娠中や産後，困ったときの相談相手の有無	○	○	○	
	枝問 妊娠中や産後，困ったときの相談相手（複数回答）	○	○	○	
	問 妊娠中の母親の喫煙有無	○	○	○	3
	問 妊娠中の母親の飲酒有無	○	○	○	6
	問 妊娠中の母親の三食摂食状況	○	○	○	28
	問 妊娠中の母親の就労有無	○	○	○	11
	枝問 妊娠中の就労時の職場の配慮（複数回答）	○	○	○	
	問 妊娠，出産についての状況の満足度	○	○	○	1

設問		調査の種類			指標 番号 (38指標)
		3か月～ 6か月児	1歳 6か月児	3歳児	
ウ 妊娠、 出産時の 状況	問 ア. 出産する施設に関する十分な情報提供<満足度>	○	○	○	
	問 イ. 病院・助産院等の設備<満足度>	○	○	○	
	問 ウ. 病院・助産院等のスタッフの対応<満足度>	○	○	○	
	問 エ. 妊娠・出産・育児についての不安への対応<満足度>	○	○	○	
	問 オ. 妊娠健康診査<満足度>	○	○	○	
	問 カ. 柏市や病院・助産院等による母親(両親)学級<満足度>	○	○	○	
	問 キ. 妊娠中の受動喫煙への配慮<満足度>	○	○	○	
	問 ク. 家族の援助など家庭環境<満足度>	○	○	○	
	問 ケ. 職場の理解や対応<満足度>	○	○	○	
	問 産後1か月間の母親の育児場所(複数回答)	○	○	○	
	枝問 実家の場所(複数回答)	○	○	○	
	問 産後1か月間に手伝ってくれた人の有無	○	○	○	
	枝問 産後1か月間に手伝ってくれた人(複数回答)	○	○	○	
	問 「2週間健康診査」の受診有無	○	○	○	
	問 助産師や保健師等からの指導・ケアを十分に受けたか	○	○	○	
	問 生後1か月時に意向のあった栄養法	○	○	○	
	問 生後1か月時の実際の栄養法	○	○	○	
エ 現在の 子育て 状況	問 現在の子育ての状況の満足度	○			
	問 子どもの就寝時間		○	○	
	問 子どもの起床時間		○	○	
	問 子どもの生活リズム		○	○	37
	問 子どもの朝食摂食状況		○	○	
	枝問 子どもの朝食摂食相手(複数回答)		○	○	23
	枝問 子どもがひとりで朝食を摂食する時の見守りの有無		○	○	
	問 野菜料理が含まれている子どもの食事(複数回答)		○	○	
	問 現在の母親の喫煙状況	○	○	○	4
	問 現在の父親の喫煙状況	○			5
	問 子どものかかりつけ医師の有無	○	○	○	19
	問 休日や夜間の急病時の医療機関等の情報認知有無	○	○	○	
	問 母親のゆったりとした気分で子どもと過ごす時間の有無	○			
	問 父親の育児参加状況	○			18
	問 母親の子どもの育てにくさの程度	○	○	○	38
	枝問 母親の子どもの育てにくさの内容(3つまでの複数回答)	○	○	○	
	問 乳幼児揺さぶられ症候群の認知有無	○			27
問 子どもが「親の後追いをする」ことの認知有無	○				
問 何かに興味を持った時に、指さしで伝えようとする ことの認知有無		○			
問 子どもが浴室のドアを1人で開けることができない よう工夫してあるか		○			

設問		調査の種類			指標 番号 (38指標)	
		3か月～ 6か月児	1歳 6か月児	3歳児		
工 現在の 子育て 状況	問 他の子から誘われれば遊びに加わろうとすることの 認知有無			○		
	問 近所で親子が集える場所に行っているか（複数回答）	○	○	○	21	
	問 子どもとの外出時に声掛けしてくれる近所の人の有無	○	○	○	12	
	問 この地域での今後の子育て意向	○	○	○	10	
	問 予防接種を進める際に参考にしているもの（複数回答）	○	○	○		
オ 災害の 備えについて	問 家庭での災害への備えの有無	○	○	○		
	枝問 家庭での災害への備えの内容（複数回答）	○	○	○		
カ 今後の母子保健 サービスのあり方	問 今後、母子保健サービスで力を入れてほしい事業 （複数回答）	○	○	○		
	問 妊娠・出産・育児に関するサービスを保健師等に調 整・案内等をしてもらいたい	○	○	○		
キ 母子に関連するサービス等の利用状況	利用 経験 の有 無／ 利用 してい ない理 由（複 数回答） ／利 用した 感想	問 妊娠子育て相談センター	○			
		問 妊婦一般健康診査の助成	○	○	○	
		問 電子親子手帳	○	○	○	
		問 ママパパサロン	○	○	○	
		問 新生児訪問	○	○	○	
		問 母と子のつどい	○	○	○	
		問 柏市民健康づくり推進員の赤ちゃん訪問	○	○	○	
		問 離乳食教室	○	○	○	
		問 乳児一般健康診査の助成（3～6か月）	○	○	○	
		問 8か月児相談		○		
		問 乳児一般健康診査の助成（9～11か月）		○	○	
		問 1歳6か月児健康診査		○	○	8
		問 フツ化物歯面塗布事業（2歳6か月頃）			○	
		問 3歳児健康診査			○	8
		問 にこにこダイヤルかしわ	○	○	○	
		問 子育てサイト「はぐはぐ柏」	○	○	○	
		問 かしわこそだてハンドブック	○	○	○	
		問 マップルプル（リーフレット）	○	○	○	
問 ファミリー・サポート・センター	○	○	○			
問 さわやかサービス	○	○	○			
問 保育園の一時保育・幼稚園の預かり保育	○	○	○			
問 産後ケア	○	○	○			
ク 転入に 関する 状況	問 妊娠中や子育て中の市外からの転入有無	○	○	○		
	枝問 妊娠中や子育て中の市外からの転入時期	○	○	○		

4 最終評価（総括）

基本理念：親子がともに健やかに育つまちかしわ

柏市では、この基本理念を掲げて、10年間、行政だけではなく地域の関係団体とともに、母子保健事業の推進に取り組んできました。柏市の親子を取り巻く社会情勢（環境）は、共働き家庭が増えて、父の育児参加が進みましたが、転入者が多く、また、近年、日本語が話せない外国籍の家庭が増えており、慣れない環境での育児による孤立感や、近くに頼れる家族等がない中での育児による負担感の増大等、抱える課題も大きく変化しています。

そのような中、令和6年度に行った市民アンケート調査では、妊娠・出産についての満足度、及び今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合は、計画策定時と変わらず9割を超えており、柏市の母子保健事業の取り組みは、社会情勢の変化を捉えて変化しながら、成果を維持できていると言えます。

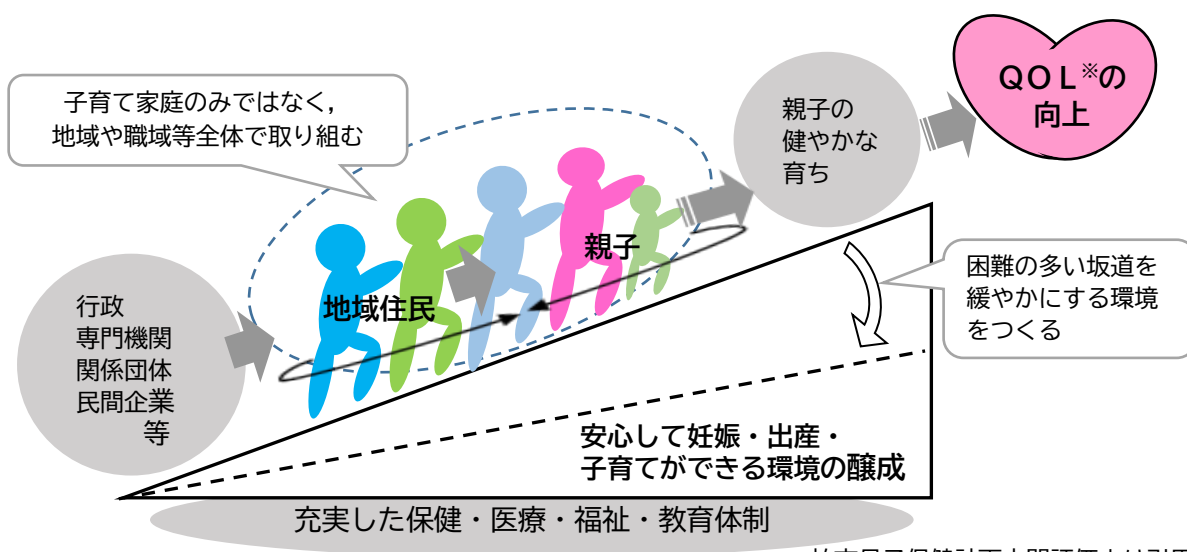
柏市母子保健計画では、ヘルスプロモーションの理念に基づき、地域全体で妊娠・出産・子育てを支えあい、必要に応じて産官民が一体となって親子を支え、親子の健やかな成長を見守り、取り組みを推進してまいりました。指標の種類別の達成率では、行政や関係機関・団体が寄与しうる取り組みを示す「環境整備」は77.8%と高い数値を維持していましたが、市民のQOLを含む保健水準である「健康水準」は38.2%、保健水準達成のための市民一人ひとりが取り組むべき事項である「健康行動」は50%と共に低い結果でした。市民のヘルスリテラシー※を高める取り組みが必要であることが示され、課題であるといえます。

※ヘルスリテラシーとは：健康や医療に関する情報を入手し、理解・活用する能力のこと

■ヘルスプロモーションの理念に基づく取組みの推進■

◎地域全体で妊娠・出産・子育てを支え合う

◎産官民が一体となって親子を支え、親子の健やかな成長を見守る



※QOL(Quality of Life)：生活の質

柏市母子保健計画中間評価より引用

基本目標1：安心した妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち

- 妊娠届出時に保健師がすべての妊婦と面談ができ、また出産後は、乳児家庭全戸訪問事業等によりほぼすべての産婦及び児に会えていることから、妊娠がわかった時から出産後にかけての不安定な時期に、保健師等による専門的な支援を早期から行える切れ目ない相談支援体制が構築できました。
- 乳幼児健康診査は、成長過程における発育・発達を保護者とともに確認する大切な機会であり、幼児健診時の専門職による面談では、児の発育・発達の確認に加えて、育児不安や負担感など、保護者の心身の健康状態の確認も含めた保健指導を実施しています。また、健診未受診者には電話連絡や訪問、所属への確認等きめ細やかな対応を行うことで、すべての児とその保護者がそれぞれの成長過程に応じた保健指導及び支援が受けられるように取り組みを行いました。
- 妊娠届出時等の全数面談や市内医療機関からの情報提供が増え、様々な課題を抱えて妊娠期から支援が必要なハイリスク妊婦を把握できる体制が整い、その数は年々増えています。児童虐待防止の観点からも、妊娠期から信頼関係を築き、心身ともに不安定になりやすい妊娠から産後の時期に適切な支援が受けられるよう、行政と地域や医療機関等の関係機関が連携して支援してきました。また、柏市では、令和7年度からは母子保健と児童福祉が一体となり、妊娠期から出産、子育てまで、さらなる切れ目ない相談支援体制を構築しています。

基本目標2：子どもの育ちと子育てを支え合うまち

- 父親の育児参加が増えてきており、それに伴い母親の満足度も高くなっています。父親の育児参加に対する社会の意識が醸成されてきた一方、父親を含めた支援も必要になっています。
- インターネット上に情報があふれる中、すべての保護者が正しい知識にたどりつけるよう、電子親子手帳やSNS等の電子媒体を活用して、子育て情報を定期的に発信しています。初めての育児の方を対象としたママパパサロンの開催や、母と子のつどい及び地域子育て支援拠点等での専門職（保健師・歯科衛生士・管理栄養士）の講話の実施等、市民が定期的に子育て情報を学べる機会を提供しています。今後も子育てに関する情報が必要な家庭にもれなく届くような啓発に努めていきます。
- 柏市は転入者が多く、身近に頼れる家族がいない家庭も多いため、地域で子育てを支える親子が集える場所が求められています。柏市では、柏市民健康づくり推進員が地域で行う母と子のつどいや、市内22か所の地域子育て支援拠点などの利用者も増えており、より身近な地域での子育て環境が整ってきています。

○学童期及び思春期世代は、健康的な生活習慣を獲得し、生涯の健康行動に大きく影響する大切な時期であり、こどもの健康に関わる環境が改善するように、地域や学校等と連携して対策を行う必要があります。

○主に小中学生を対象に、生や性に関する正しい知識を身につけ、命の大切さや自分も相手も大切にすることを学ぶ思春期保健健康教育などを実施しており、若年妊婦や十代の人工妊娠中絶の割合は、年々減少しています。さらに、妊娠・出産・子育てを含めたライフプランを自らが主体的に選択できるよう、妊娠等を含めた正しい知識を身につけて健康管理を促すプレコンセプションケアを推進しており、対策を強化しています。

基本目標3：配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支え合うまち

○妊娠期から支援が必要なハイリスク妊婦が抱える課題が多様化する中、出産までの限られた期間の中で信頼関係を築き、支援体制を構築する必要がありますが、医療機関を含めた関係機関や児童福祉担当との連携も進み、ハイリスク妊婦に対して早期から支援を開始しています。

○ハイリスク妊婦のうち、精神保健に課題がある妊婦の割合が増えている現状から、周産期から子育て期まで、地域で安心して産み子育てができるまちとなるよう、市内の産科、精神科、小児科、家庭医等が連携して支援体制を構築しています。

○社会の意識の変化やインターネット等で発達障害等の情報が得られやすくなり、こどもの発達の特性に不安を感じる保護者も少なくありません。電話相談や幼児健康診査等を通して、児へのかかわり方を専門職が共に考えたり、専門的な支援が必要と思われる児に対しては、こども発達センター等の専門機関へつなぐなど、保護者の不安や負担感を軽減するよう相談支援を行っています。

5 38指標の評価

(1) 評価の概要

38指標を「1①改善した」から「4評価できない」の5段階で評価した結果、計画策定時と比べて18項目が改善傾向、11項目が低下しています。

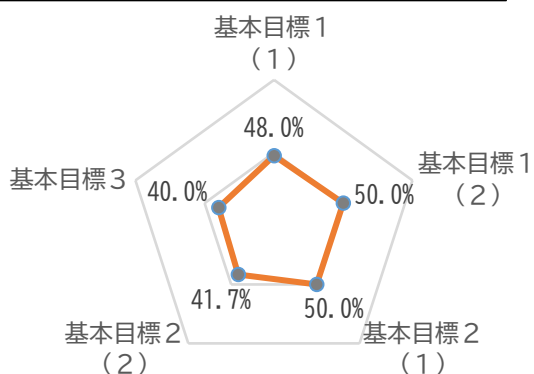
評価基準		評価数	割合
1①	改善した（目標を達成した）	8	21.1%
1②	目標に達していないが改善した（達成率 50%以上）	10	26.3%
2	策定時から横ばい（達成率 0~49%）	9	23.7%
3	策定時から低下	11	28.9%
4	評価できない（判定できない）	0	0.0%
計		38	

(2) 施策分野別・指標種類別の評価状況

施策分野別では基本目標1（2）、2（1）が50%に達し、指標の種類別達成度では環境整備が77.8%に達しています。

改善傾向にある指標の割合

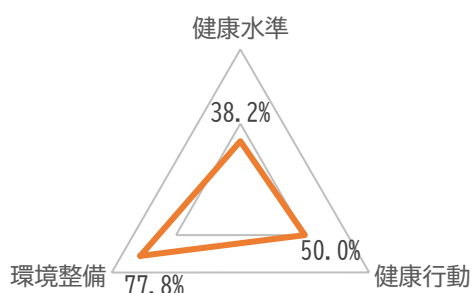
* 「1①改善した（目標を達成した）」と「1②目標に達していないが改善した」を改善傾向にある指標と分類



評価基準	基本目標1		基本目標2		基本目標3
	婦・乳幼児の支援 (1) 切れ目のない妊産 童虐待防止対策	童虐待防止対策 (2) 妊娠からの児	親育ちの支援 (1) 子育て・子育て をつくる字びの推進	健康かな体と心 (2) 健康かな体と心	子ども及び配慮が必要なし (1) 配慮が必要なし な子育て家庭への切 れ目のない支援
1①	7 (28.0%)	1 (16.7%)	1 (25.0%)	2 (16.7%)	0 (0.0%)
1②	5 (20.0%)	2 (33.3%)	1 (25.0%)	3 (25.0%)	2 (40.0%)
2	8 (32.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	1 (8.3%)	2 (40.0%)
3	5 (20.0%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	6 (50.0%)	1 (20.0%)
4	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

指標の種類別達成度

* 「健康水準」…QOLを含む市民の保健水準
* 「健康行動」…保健水準達成のための市民一人ひとりが取り組むべき事項
* 「環境整備」…事業の実施、サービスの提供、施設・設備の整備等資源・環境の整備に対して行政や関係機関・団体が寄与する取組



評価基準	健康水準	健康行動	環境整備
1①	5 (14.7%)	5 (19.2%)	5 (55.6%)
1②	8 (23.5%)	8 (30.8%)	2 (22.2%)
2	8 (23.5%)	8 (30.8%)	0 (0.0%)
3	13 (38.2%)	5 (19.2%)	2 (22.2%)
4	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

(3) 38指標の基本目標・施策分野別・種類別一覧

指標番号	指標名	達成度	種類別		
			健康水準	健康行動	環境整備
基本目標 1：安心した妊娠・出産と心ゆたかに子育てができるまち					
施策分野(1)：切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援 【指標数：25 個】					
指標 1	妊娠・出産について満足している者の割合	2	●		
指標 2	むし歯のない3歳児の割合	1①	●		
指標 3	妊娠中の妊婦の喫煙率	1②		●	
指標 4	育児期間中の両親の喫煙率(母)	2		●	
指標 5	育児期間中の両親の喫煙率(父)	2		●	
指標 6	妊娠中の妊婦の飲酒率	1②		●	
指標 7	乳幼児健康診査の未受診率	2		●	
指標 8	乳幼児健康診査の満足度(★)	1①			●
指標 9	仕上げ磨きをする親の割合	1②		●	
指標 10	今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合(★)	3	●		●
指標 11	仕事を持つ妊婦の割合(★)	1①	●		●
指標 12	地域の人からの声かけ状況(★)	3			●
指標 13	妊娠届出時の保健師等による面談率(★)	1①			●
指標 14	ハイリスク妊婦の割合(★)	3	●		
指標 15	特定妊婦の割合(★)	3	●		
指標 16	乳児家庭全戸訪問事業での面談率(★)	1①			●
指標 17	新生児訪問の実施率(★)	1②			●
指標 18	積極的に育児をしている父親の割合	1①		●	
指標 19	子どものかかりつけ医師を持つ親の割合	2	●		
指標 20	子どものかかりつけ歯科医師を持つ親の割合	1②	●		
指標 21	地域のつどい等に参加している者の割合(★)	2		●	
指標 22	若年妊婦による妊娠届出数(届出時20歳未満)(★)	1①	●	●	
指標 23	朝食を子どものみで食べている児の割合	3	●	●	
指標 24	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	2	●	●	
指標 25	子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合	2	●		
施策分野(2)妊産婦からの児童虐待防止対策 【指標数：6 個】					
指標 14 ^{※1}	ハイリスク妊婦の割合(★)	3	●		
指標 15 ^{※1}	特定妊婦の割合(★)	3	●		
指標 16 ^{※1}	乳児家庭全戸訪問事業での面談率(★)	1①			●
指標 17 ^{※1}	新生児訪問の実施率(★)	1②			●
指標 26	乳幼児期に体罰や暴言、ネグレクト等によらない子育てをしている親の割合 ^{※2}	1②	●	●	
指標 27	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	3	●		
基本目標 2：子どもの育ちと子育てを支え合うまち					
施策分野(1)子育て・子育て・親育ちの支援 【指標数：4 個】					
指標 18 ^{※1}	積極的に育児をしている父親の割合	1①		●	
指標 19 ^{※1}	子どものかかりつけ医師を持つ親の割合	2	●		
指標 20 ^{※1}	子どものかかりつけ歯科医師を持つ親の割合	1②	●		
指標 21 ^{※1}	地域のつどい等に参加している者の割合(★)	2		●	
施策分野(2)健やかな体と心をつくる学びの推進 【指標数：12 個】					
指標 22 ^{※1}	若年妊婦による妊娠届出数(届出時20歳未満)(★)	1①	●	●	
指標 23 ^{※1}	朝食を子どものみで食べている児の割合	3	●	●	
指標 28	妊娠中の食事(三食)の摂取状況(★)	3		●	
指標 29	十代の人工妊娠中絶率	1①	●	●	
指標 30	十代の性感染症罹患率(感染症サーベイランスシステムより)	1②	●		
指標 31	小中学生の瘦身傾向児(肥満度-20%以下)の割合	3	●		
指標 32	小中学生の肥満傾向児(肥満度+20%以上)の割合	3	●		
指標 33	歯肉に炎症がある十代の割合	3	●	●	
指標 34	十代の喫煙率	2	●	●	
指標 35	十代の飲酒率	1②	●	●	
指標 36	朝食を欠食する小中学生の割合	3	●	●	
指標 37	規則的な生活リズムで生活する児の割合(★)	1②	●	●	
基本目標 3：配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支え合うまち					
施策分野(1)：配慮が必要な子ども及び配慮が必要な子育て家庭への切れ目のない支援 【指標数：5 個】					
指標 24 ^{※1}	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	2	●	●	
指標 25 ^{※1}	子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合	2	●		
指標 26 ^{※1}	乳幼児期に体罰や暴言、ネグレクト等によらない子育てをしている親の割合 ^{※2}	1②	●	●	
指標 27 ^{※1}	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	3	●		
指標 38	母が育てにくさを感じている割合(★)	1②	●	●	

(★)を付記した指標は、計画策定時に【柏市独自】に挙げた内容であり、その他は【健やか親子21(第2次)】における指標と同内容です。

※1 再掲の指標です。

※2 令和2年度に健やか親子21(第2次)に準じて指標名を変更しました。

(4) 指標の達成状況と評価

38指標毎にベースライン値、目標値と最終評価値と照らし合わせ、以下の区分に基づき、達成状況を判定しました。

(★)を付記した指標は、計画策定時に【柏市独自】に挙げた内容であり、その他は【健やか親子21(第2次)】における指標と同内容です。

【最終評価における判定区分】※1

- 1① 改善した(目標を達成した)
- 1② 目標に達成していないが改善した(達成率50%以上)
- 2 策定時から横ばい(達成率0~49%)
- 3 策定時から低下
- 4 評価できない(判定できない)

指標番号	指標名	ベースライン値 (計画策定当時 平成26年度)	中間評価値 (令和元年度)	目標値 10年後 (令和6年度)	最終評価	
					最終評価値 (令和6年度)	達成度
1	妊娠・出産について満足している者の割合	91.1%	91.3%	95.0%	92.1%	2
2	むし歯のない3歳児の割合	3歳児：82.7%	3歳児：88.2%	3歳児：90.0%	3歳児：94.1%	1①
3	妊娠中の妊婦の喫煙率	2.6%	1.6%	0%	1.1%	1②
4	育児期間中の両親の喫煙率(母)	3~6か月児：4.6% 1歳6か月児：6.5% 3歳児：9.7%	3~6か月児：2.4% 1歳6か月児：4.7% 3歳児：4.8%	3~6か月児：0% 1歳6か月児：0% 3歳児：0%	3~6か月児：3.0% 1歳6か月児：6.0% 3歳児：4.4%	2
5	育児期間中の両親の喫煙率(父)	3~6か月児：32.0%	3~6か月児：26.6%	3~6か月児：0%	3~6か月児：22.6%	2
6	妊娠中の妊婦の飲酒率	2.3%	1.1%	0%	0.7%	1②
7	乳幼児健康診査の未受診率	3~6か月児：9.6% 1歳6か月児：8.2% 3歳児：10.7%	3~6か月児：9.0% 1歳6か月児：10.2% 3歳児：13.5%	3~6か月児：3.0% 1歳6か月児：4.0% 3歳児：6.0%	3~6か月児：6.7% 1歳6か月児：6.5% 3歳児：9.9%	2
8	乳幼児健康診査の満足度(★)	1歳6か月児：78.5% 3歳児：80.8%	1歳6か月児：94.6% 3歳児：95.7%	1歳6か月児：83.0% 3歳児：85.0%	1歳6か月児：90.9% 3歳児：87.7%	1①
9	仕上げ磨きをする親の割合	1歳6か月児：69.6% 3歳児：96.3%	1歳6か月児：72.8% 3歳児：83.6%	1歳6か月児：100% 3歳児：100%	1歳6か月児：97.5% 3歳児：99.0%	1②
10	今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合	3~6か月児：96.7% 1歳6か月児：93.0% 3歳児：91.2% 全体：93.6%	3~6か月児：88.2% 1歳6か月児：93.0% 3歳児：93.3% 全体：91.5%	3~6か月児：98.0% 1歳6か月児：95.0% 3歳児：95.0% 全体：96%	3~6か月児：89.1% 1歳6か月児：91.6% 3歳児：91.8% 全体：90.8%	3
11	仕事を持つ妊婦の割合(★)	53.9%	64.3%	70.0%	70.4%	1①
12	地域の人からの声かけ状況(★)	3~6か月児：77.7% 1歳6か月児：88.8% 3歳児：83.3%	3~6か月児：74.0% 1歳6か月児：79.5% 3歳児：80.0%	3~6か月児：90.0% 1歳6か月児：93.0% 3歳児：90.0%	3~6か月児：69.6% 1歳6か月児：73.2% 3歳児：76.8%	3
13	妊娠届出時の保健師等による面談率(★)	41.4%	100%	100%	100%	1①
14	ハイリスク妊婦の割合(★)	11.0%	20.1%	8.0%	25.7%	3
15	特定妊婦の割合(★)	2.9%	6.6%	減少	12.9%	3
16	乳児家庭全戸訪問事業での面談率(★)	68.6%	96.2%	97.0%	99.0%	1①
17	新生児訪問の実施率(★)	51.9%	83.6%	95.0%	89.0%	1②
18	積極的に育児をしている父親の割合	3~6か月児：47.1%	3~6か月児：50.5%	3~6か月児：55.0%	3~6か月児：59.7%	1①

指標番号	指標名	ベースライン値 (計画策定当時 平成26年度)	中間評価値 (令和元年度)	目標値 10年後 (令和6年度)	最終評価	
					最終評価値 (令和6年度)	達成度
19	子どものかかりつけ医師を持つ親の割合	3～6か月児：59.3% 1歳6か月児：81.1% 3歳児：80.6%	-	3～6か月児：85.0% 1歳6か月児：95.0% 3歳児：95.0%	3～6か月児：78.6% 1歳6か月児：84.4% 3歳児：78.9%	2
20	子どものかかりつけ歯科医師を持つ親の割合	3歳児：56.9%	3歳児：61.0%	3歳児：65.0%	3歳児：64.2%	1②
21	地域のつどい等に参加している者の割合(★)	3～6か月児：40.8% 1歳6か月児：48.4% 3歳児：37.3%	3～6か月児：44.8% 1歳6か月児：44.8% 3歳児：32.1%	3～6か月児：50.0% 1歳6か月児：55.0% 3歳児：48.0%	3～6か月児：48.4% 1歳6か月児：49.2% 3歳児：31.4%	2
22	若年妊婦による妊娠届出数 (届出時20歳未満)(★)	48件/3,551件 (1.35%)	44件/3,215件 (1.35%)	減少 (1%未満)	21件/3,064件 (0.68%)	1①
23	朝食を子どものみで食べている児の割合	1歳6か月児：8.2% 3歳児：8.2%	1歳6か月児：14.2% 3歳児：7.3%	1歳6か月児：5.0% 3歳児：5.0%	1歳6か月児：15.6% 3歳児：7.0%	3
24	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3～4か月児：82.1% 1歳6か月児：78.2% 3歳児：70.8%	3～4か月児：89.5% 1歳6か月児：84.0% 3歳児：77.9%	3～4か月児：95.0% 1歳6か月児：95.0% 3歳児：95.0%	3～4か月児：86.6% 1歳6か月児：81.3% 3歳児：76.9%	2
25	子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合	3～4か月児：88.3% 1歳6か月児：89.3% 3歳児：84.6%	3～4か月児：89.1% 1歳6か月児：97.7% 3歳児：86.9%	3～4か月児：95.0% 1歳6か月児：95.0% 3歳児：95.0%	3～4か月児：86.6% 1歳6か月児：95.0% 3歳児：86.0%	2
26	乳幼児期に体罰や暴言、ネグレクト等によらない子育てをしている親の割合 ※R2指標名修正	3～4か月児： 10.0% →90.0% 1歳6か月児： 36.0% →64.0% 3歳児：58.5% →41.5%	3～4か月児： 1.2% →98.8% 1歳6か月児： 18.3% →81.7% 3歳児：39.6% →60.4%	3～4か月児：95.0% 1歳6か月児：85.0% 3歳児：70.0%	3～4か月児：92.9% 1歳6か月児：83.2% 3歳児：68.3%	1②
27	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	3～6か月児：96.5%	3～6か月児：96.9%	3～6か月児：100%	3～6か月児：96.2%	3
28	妊娠中の食事(三食)の摂取状況(★)	74.5%	74.2%	85.0%	70.9%	3
29	十代の人工妊娠中絶率	(平成24年度) 3.8(人口千対)	3.2(人口千対)	3.0(人口千対)	1.5(人口千対)	1①
30	十代の性感染症罹患率	性器クラミジア・淋菌感染症・尖圭コンジローマ・性器ヘルペス4.0%	・性器クラミジア 2 ・淋菌感染症 1 ・尖圭コンジローマ 1.67 ・性器ヘルペス 0.33 ・梅毒(実数)14 (内10代は0)	減少	・性器クラミジア 2.67 ・性器ヘルペス 0.67 ・尖圭コンジローマ 1.00 ・淋菌感染症 0.33 ・梅毒(実数)2	1②
31	小中学生の痩身傾向児(肥満度-20%以下)の割合	(平成25年度) 小学生：1.2% 中学生：2.5%	小学生：1.2% 中学生：2.7%	小学生：減少 中学生：1.0%	小学生：1.5% 中学生：3.9%	3
32	小中学生の肥満傾向児(肥満度+20%以上)の割合	(平成25年度) 小学生：6.7% 中学生：7.5%	小学生：7.6% 中学生：8.7%	小学生：減少 中学生：7.0%	小学生：8.0% 中学生：9.1%	3
33	歯肉に炎症がある十代の割合	小学生：12.3% 中学生：16.5%	小学生：14.7% 中学生：19.7%	小学生：11.0% 中学生：14.0%	小学生：14.5% 中学生：15.4%	3
34	十代の喫煙率	小学6年生：2.0% 中学3年生：3.1%	(平成29年度) 小学6年生：1.1% 中学3年生：1.1%	0%	(令和5年度) 小学6年生：0.9% 中学3年生：1.9%	2
35	十代の飲酒率	小学6年生：25.1% 中学3年生：23.6%	(平成29年度) 小学6年生：16.6% 中学3年生：14.6%	0%	(令和5年度) 小学6年生：7.2% 中学3年生：6.0%	1②
36	朝食を欠食する小中学生の割合	(平成24年度) 小学5年生：8.5% 中学2年生：10.9%	小学5年生：6.7% 中学2年生：9.0%	小学5年生：3.0% 中学2年生：5.0%	小学5年生：15.0% 中学2年生：24.0%	3
37	規則的な生活リズムで生活する児の割合(★)	1歳6か月児：81.4% 3歳児：75.0%	1歳6か月児：86.6% 3歳児：73.8%	1歳6か月児：85.0% 3歳児：88.0%	1歳6か月児：87.7% 3歳児：84.2%	1②
38	母が育てにくさを感じている割合(★)	3～6か月児：21.4% 1歳6か月児：24.6% 3歳児：33.0%	3～6か月児：23.8% 1歳6か月児：18.7% 3歳児：33.0%	3～6か月児：10.0% 1歳6か月児：16.0% 3歳児：22.0%	3～6か月児：15.9% 1歳6か月児：18.8% 3歳児：19.8%	1②

※1 最終評価における判定区分は、中間評価時の表現を一部変更しています。

(中間評価時の判定区分：1①改善した(目標を達成した)、1②改善した(目標に達成していないが改善した)、2変わらない、3悪くなっている、4評価できない)

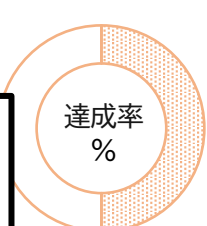
※2 指標26は、令和2年度に健やか親子21(第2次)に準じて、「体罰や暴言、ネグレクト等をしている」割合から、「体罰や暴言、ネグレクト等によらない子育てをしている」割合に変更しています。

6 基本目標・施策分野別の評価

【基本目標・施策分野別にみた評価と課題 詳細の見方】

(1) 指標の評価

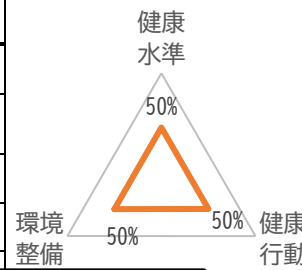
指標の達成率や達成した指標・低下した指標を示します。

評価基準	評価指標数	割合	達成率
1 ①改善した (目標を達成した)			指標総数：25指標 
1 ②目標に達成していないが改善した (達成率50%以上)			
2 策定時から横ばい (達成率0~49%)			
3 策定時から低下			
4 評価できない (判定できない)			
計			

施策分野に該当する指標の評価基準を示しています。達成率は1 ①, 1 ②に該当する指標の割合を示しています。

評価基準	指標名
1 ①改善した (目標を達成した)	
1 ②目標に達成していないが改善した (達成率50%以上)	
2 策定時から横ばい (達成率0~49%)	
3 策定時から低下	
4 評価できない (判定できない)	

評価基準毎に指標名を示しています。

指標の種類	健康水準	健康行動	環境整備	指標の種類別達成度
指標の種類別指標数				
1 ①改善した (目標を達成した)				
1 ②目標に達成していないが改善した (達成率50%以上)				
2 策定時から横ばい (達成率0~49%)				
3 策定時から低下				
4 評価できない (判定できない)				

指標の種類別に、評価基準毎に示しています。達成度は、指標の種類別に1 ①, 1 ②に該当する指標の割合を示しています。

(2) 評価結果の考察

指標の達成状況を踏まえ、成果と課題についてまとめます。

(3) 事業評価

施策分野の推進事業の評価やアンケート調査結果を踏まえ、課題についてまとめます。

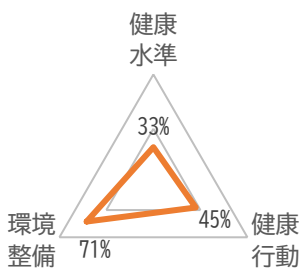
基本目標 1 安心した妊娠・出産と心ゆたかに子育てができるまち 施策分野（1）切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援

（1）指標の評価

基本目標 1 施策分野（1）に該当する25指標のうち、改善した指標は12指標の48%でした。

評価基準	評価指標数	割合	達成率
1 ①改善した（目標を達成した）	7	28.0%	指標総数：25指標  達成率 48%
1 ② 目標に達成していないが改善した （達成率50%以上）	5	20.0%	
2 策定時から横ばい （達成率0～49%）	8	32.0%	
3 策定時から低下	5	20.0%	
4 評価できない（判定できない）	0	0.0%	
計	25		

評価基準	指標名
1 ①改善した （目標を達成した）	2 むし歯のない3歳児の割合 11 仕事を持つ妊婦の割合 16 乳児家庭全戸訪問事業での面談率 22 若年妊婦による妊娠届出数 （届出時20歳未満）
1 ② 目標に達成していないが改善した （達成率50%以上）	3 妊娠中の妊婦の喫煙率 9 仕上げ磨きをする親の割合 20 子どものかかりつけ歯科医師を持つ親の割合
2 策定時から横ばい （達成率0～49%）	1 妊娠・出産について満足している者の割合 5 育児期間中の両親の喫煙率（父） 19 子どものかかりつけ医師を持つ親の割合 24 ゆったりとした気分で子どもと過ごす時間がある母親の割合
3 策定時から低下	10 今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合 15 特定妊婦の割合
4 評価できない （判定できない）	—

指標の種類	健康水準	健康行動	環境整備	指標の種類別達成度
指標の種類別指標数	12	11	7	 健康水準 33% 健康行動 45% 環境整備 71%
1 ①改善した（目標を達成した）	3	2	4	
1 ② 目標に達成していないが改善した （達成率50%以上）	1	3	1	
2 策定時から横ばい （達成率0～49%）	4	5	0	
3 策定時から低下	4	1	2	
4 評価できない（判定できない）				

※指標の種類が2種類にまたがる指標もあるため、指標総数と指標の種類別の合計は異なります。

(2) 評価結果の考察

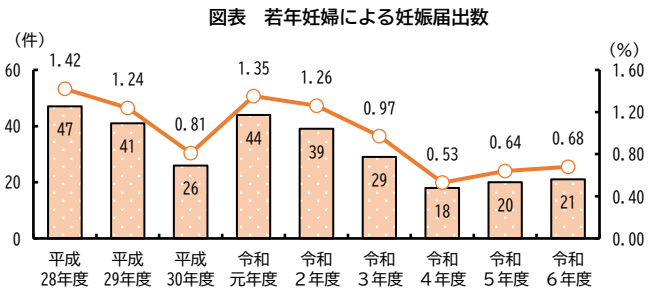
【改善した項目】

◇指標13「妊娠届出時の保健師等による面談率」、指標16「乳児家庭全戸訪問事業の面談率」は、ほぼ100%となっています。妊娠時から出産直後の不安定な時期に保健師等による専門的な支援を行っており、切れ目ない相談支援体制が確立できています。

◇指標2「むし歯のない3歳児の割合」、指標8「乳幼児健診の満足度」及び指標9「仕上げ磨きをする親の割合」において改善がみられており、健診が予防指導の一助となっているといえます。

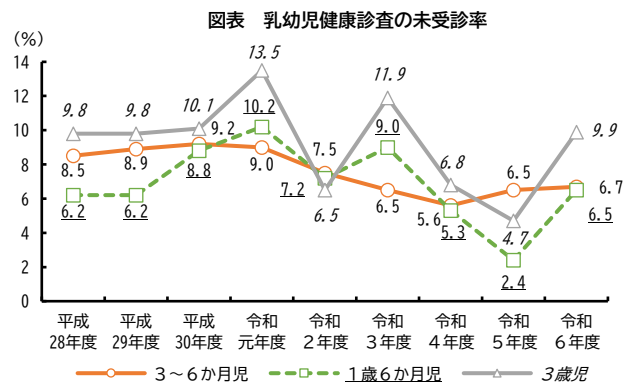
◇指標11「仕事を持つ妊婦の割合」が増える中で（H27 53.9%→R6 70.4%）、指標18「積極的に育児をしている父親の割合」も増えており（H27 47.1%→R6 59.7%）、育児への父親の参加が進み、社会の意識が醸成されてきているといえます。

◇指標22「若年妊婦による妊娠届出数」は減少しており、中間評価時の半数となっています。思春期保健健康教育等を始めとした、小中学校等への周知啓発の効果が表れてきているともいえます。

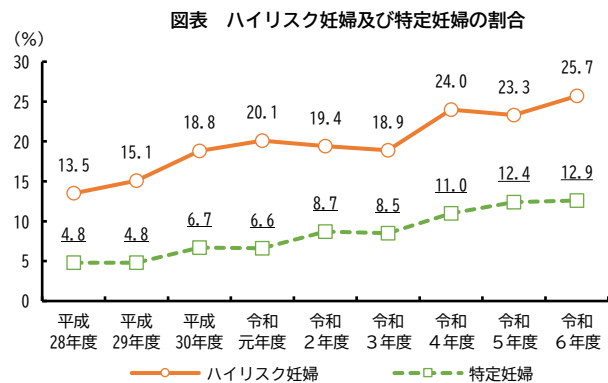


【横ばいまたは低下した項目】

◇指標7「乳幼児健康診査の未受診率」は中間評価より減少していますが、目標値には達成しておらず（P20参照）、引き続き、すべての乳幼児が健診を受けられるよう継続的な支援が必要です。



◇指標14「ハイリスク妊婦の割合」及び指標15「特定妊婦の割合」は、年々増加傾向となっており、**全数面談や医療機関との連携強化により、支援が必要な対象をより把握しやすくなったともいえます。**柏市は転入者も多く、妊婦が抱える課題や背景はさまざまであり、的確にニーズを捉えて早期に支援につなげて、安心した出産・健やかな育児を見守る相談支援体制が必要です。



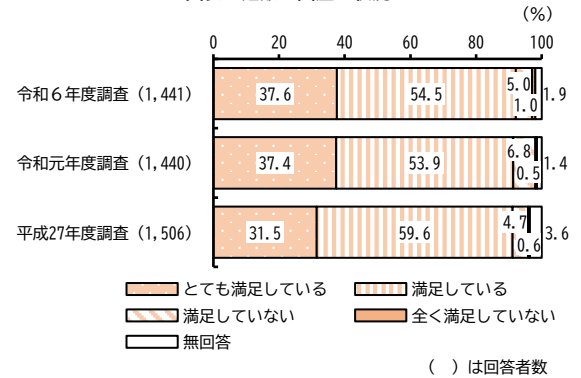
◇柏市は、外国人人口の割合が増加しております（P7参照）。日本語の会話が難しい妊婦は、ハイリスク妊婦として妊娠届出時から支援を開始し、異国の地で安心して出産・育児が行えるよう、きめ細やかな対応を行っています。

◇指標3「妊娠中の妊婦の喫煙率」及び指標6「妊娠中の妊婦の飲酒率」は改善していますが、指標4「育児期間中の両親の喫煙率（母）」及び指標5「育児期間中の両親の喫煙率（父）」は、策定時から横ばいという結果であり、3～6か月児に限ると、母親の喫煙率は3.0%に対し、父親の喫煙率は22.6%と高い結果でした（P20参照）。副流煙や分煙しても呼気や衣類等に含まれていることなど、引き続き、啓発が必要です。

◇指標1「妊娠・出産についての満足している者の割合」は、策定時から横ばいという結果になりましたが、92.1%*と計画策定時から変わらず高い値となっています。

*「とても満足している」「満足している」の合計値

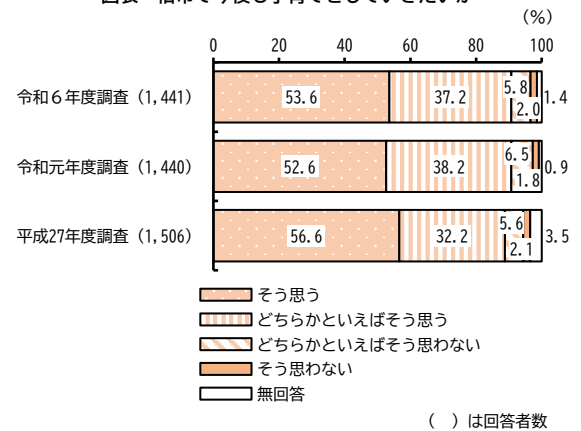
図表 妊娠・出産の状況



◇指標10「今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合」は90.8%で、目標値(96%)に至りませんでした。中間評価時と同等の9割*を維持しています。

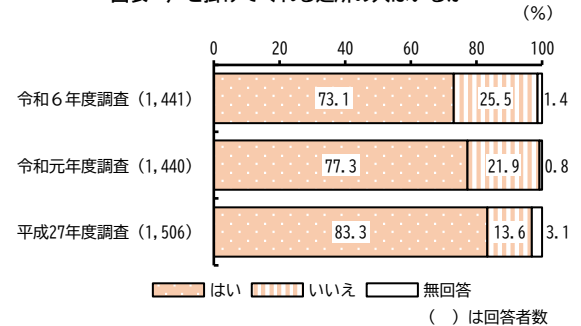
*「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計値

図表 柏市で今後も子育てをしていきたいか



◇指標12「地域の人からの声かけ状況」は、目標値に至らず策定時から低下となっています。地域ぐるみでの防災意識の向上が求められており、地域で親子を支える仕掛けづくりが課題となっています。

図表 声を掛けてくれる近所の人はいるか



(3) 事業評価

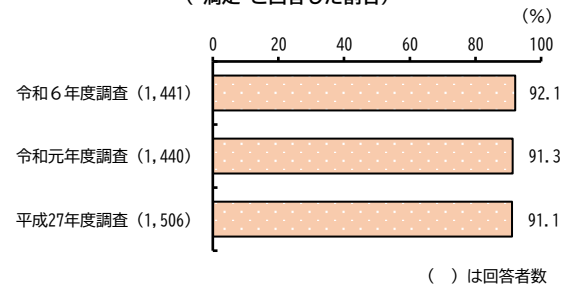
基本施策①妊娠から継続した総合的な支援体制の整備

○妊娠子育て相談窓口を活用し、妊娠届出時に保健師等による全数面談を行い、必要な家庭を早期に把握して迅速な対応につなげています。令和6年度においても面談率は100%を維持しており、タイムリーな相談支援と切れ目ない支援環境が継続しています。

アンケート調査では、妊娠、出産についての状況について“満足”と回答した割合が92.1%となっており、こうした取組が切れ目ない妊娠・出産・子育て時の安心感につながっていることがうかがえます。

妊娠届出時の面談で支援が必要な家庭を早期に支援につなげるため、対応職員の面談スキルの向上等の人材育成が重要です。

図表 妊娠、出産についての状況
（“満足”と回答した割合）



○地域子育て支援拠点（はぐはぐひろば沼南及び柏たなか）において、子育てに関する情報の提供や適切なサービス・支援機関の紹介を行いました。利用者が教育・保育施設や地域の子育て支援事業を円滑に活用できるようサポートするとともに、相談手段として、対面、電話、SNS、オンライン相談を提供するなど、利用者の利便性の向上を図っています。

○乳児家庭全戸訪問事業では、生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を対象に、保健師や助産師が訪問し、家庭の育児状況に寄り添いながら安心して育児を行える環境を提供するとともに、早期に支援が必要な家庭を把握・対応してきました。出生連絡票電子化の推進や様々な事業と連携し、支援を必要とする対象者の早期発見・早期支援につなげることが重要です。

○妊娠・出産・子育てに関する不安や悩みに対応するため、子育て電話相談（にこにこダイヤルかしわ）を実施し、専任の保健師・助産師が個別支援を提供してきました。令和6年度の相談件数は856件と減少傾向となっていますが、これは、はぐはぐひろばや地域子育て支援センター、子ども・子育て支援複合施設TeToTe、SNS（LINEやチャット等）の多様な相談手段が普及したことによる影響がうかがわれます。

基本施策②乳幼児期の健やかな成長の支援

○妊婦健康診査と乳児健康診査の受診を促進するため、医療費の一部を公費負担しています。各種健診の受診率向上のため、さらなる啓発活動と受診勧奨体制の強化が必要です。

○新生児聴覚検査費用助成事業は、先天性難聴児の早期発見と早期療育につなげることを目的として、令和3年度から出生後に実施される新生児聴覚検査の費用を助成してい

ます。医療機関との連携によって、先天性難聴児の早期発見に繋がっていますが、精密検査が必要とされた場合に受診状況の把握が難しいことが課題として挙げられており、受診後のフォローアップ体制について検討が必要です。

- 幼児期の健康状態や発達を確認し、保護者が責任とゆとりをもち、子育てできるよう支援するとともに、子どもの心身の異常の早期発見及び早期家族支援のため、法定健診である幼児健康診査を実施しています。1歳6か月児健診後に発達面で経過観察が必要と判断された児や、育児不安を抱える保護者等を対象に、ひよこルームを実施し、子どもの発達支援や保護者のサポートを行ってきました。ひよこルームは令和6年度で終了しましたが、引き続き、こども発達センターと連携を図り、発達への困り感や育児負担感を持つ保護者に対する相談対応と、適切な支援につなげる環境を整備していきます。
- 8か月児相談事業は、乳児期における親子の困りごとや育児不安の軽減を目的として、身体計測、栄養相談、育児相談等を行い、令和6年度は1,455人の参加者となっています。令和6年度で現行の事業は終了となりましたが、妊娠子育て相談窓口や駅前すこやかプチルーム、電話相談など、すべての保護者が相談しやすい体制を整えています。

基本施策③地域ぐるみの子育て支援の充実

- 子育て支援事業（母と子のつどい）は、妊娠期からおおむね1歳半頃までの乳幼児とその保護者を対象に、柏市民健康づくり推進員が主体となり、地域で親子が交流できる場を提供し、参加者同士が互いに支え合う力を育むとともに、育児の孤立軽減を図っています。令和6年度には187回、3,995人の参加者があり、地域の実情に応じた柔軟な内容で行いました。柏市内20地域において多くの親子との交流を通じて、地域での母と子を支える体制が構築されています。
- ファミリー・サポート・センター事業、通常保育事業、一時保育事業等の保育事業を行っていますが、保育需要が高く、ファミリー・サポート・センター事業の協力会員や保育士の確保が課題です。
- 市民団体の企画・運営による子育て応援イベント「はぐはぐフォーラム」や、子育て情報誌「touch」の作成など、市内の子育て団体の連携や情報共有等のネットワーク化を図りました。
- 地域社会が親子のふれあいと育児を支援する取組として、1歳6か月児健康診査の際にボランティアが親子へ絵本を手渡し、絵本を介したコミュニケーションの重要性を伝えるブックスタート事業を実施しています。令和6年度には2,988人が絵本を受け取りました。


基本施策④災害等における危機管理体制の整備

- 母子健康手帳の交付時に、防災ノートを配布し、日常の防災意識向上を図ってきました。また、こどもをはぐくむ柏市子育てサイト「はぐはぐ柏」や電子親子手帳を活用した防災情報発信、こども健康ルームでの避難経路や防災リュックの掲示、母と子のつどいにおける柏市民健康づくり推進員による啓発活動を通じて、地域ぐるみでの防災意識向上に取り組んでいます。
- 災害発生時に妊産婦や乳幼児等の要配慮者が安心して必要なケアを受けられるよう、一般社団法人千葉県助産師会と、災害時における助産師支援活動の協力に関する協定を締結しました。

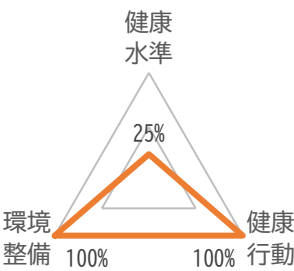
基本目標 1 安心した妊娠・出産と心ゆたかに子育てができるまち 施策分野（2）妊娠期からの児童虐待防止対策

（1）指標の評価

基本目標 1 施策分野（2）に該当する 6 指標のうち、改善した指標は 3 指標の 50% でした。

評価基準	評価指標数	割合	達成率
1 ①改善した（目標を達成した）	1	16.7%	指標総数：6 指標  達成率 50%
1 ②目標に達成していないが改善した（達成率50%以上）	2	33.3%	
2 策定時から横ばい（達成率0～49%）	0	0.0%	
3 策定時から低下	3	50.0%	
4 評価できない（判定できない）	0	0.0%	
計	6		

評価基準	指標名
1 ①改善した（目標を達成した）	16 乳児家庭全戸訪問事業での面談率
1 ②目標に達成していないが改善した（達成率50%以上）	17 新生児訪問の実施率 26 乳幼児期に体罰や暴言、ネグレクト等によらない子育てをしている親の割合
3 策定時から低下	14 ハイリスク妊婦の割合 15 特定妊婦の割合 27 乳幼児揺さぶられ症候群（SBS）を知っている親の割合

指標の種類	健康水準	健康行動	環境整備	指標の種類別達成度
指標の種類別指標数	4	1	2	 健康水準 25% 環境整備 100% 健康行動 100%
1 ①改善した（目標を達成した）			1	
1 ②目標に達成していないが改善した（達成率50%以上）	1	1	1	
2 策定時から横ばい（達成率0～49%）				
3 策定時から低下	3			
4 評価できない（判定できない）				

※指標の種類が 2 種類にまたがる指標もあるため、指標総数と指標の種類別の合計は異なります。

(2) 評価結果の考察

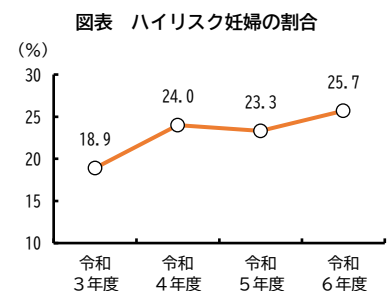
【改善した項目】

◇指標16「乳児家庭全戸訪問事業での面談率」、指標17「新生児訪問の実施率」に改善が見られ、妊娠前から出産直後の不安定な時期に、保健師等による専門的な支援を行っており、切れ目ない相談支援体制が確立できています。

◇指標26「乳幼児期に体罰や暴言等、ネグレクト等によらない子育てをしている親の割合」に改善がみられていますが、3歳児では68.3%と他の年代より低く（P21参照）、幼児健診での育児相談等において、保護者に寄り添った育児支援が必要です。

【横ばいまたは低下した項目】

◇指標14「ハイリスク妊婦の割合」及び指標15「特定妊婦の割合」は増加傾向にあり、妊婦の生育環境や抱える課題に応じて、妊娠初期から信頼関係を築き、安心して出産・育児ができるように、関係機関と連携して切れ目なく支援することが必要です。



◇指標27「乳幼児揺さぶられ症候群（SBS）を知っている親の割合」が、策定時から低下となりましたが、96.2%*の方は理解しています。

*H27 96.5% →R1 96.9% →R6 96.2%

(3) 事業評価

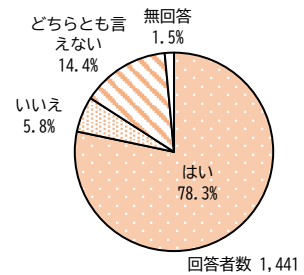
基本施策①リスクを抱えた妊産婦及び家庭への支援

○妊娠子育て相談窓口では、虐待の予防や早期発見のため、妊娠届出時の保健師等による全数面談を通じて支援が必要な家庭を早期に把握し、適切な支援につなげています。また、伴走型支援の一環として子育てガイドを活用したり、令和7年度からは妊婦等包括相談支援事業として、虐待の予防や早期発見を含めた切れ目のない支援を行っています。引き続き、妊娠子育て相談窓口と地域担当保健師間での迅速な情報共有体制を強化しながら、切れ目ない支援を充実する必要があります。

○妊娠期からの切れ目ない支援を実現するため、特定妊婦や要支援家庭に対し、専門職が他機関と連携して相談支援を行っています。令和6年度には、リスク区分に応じたケース支援の導入や子育て包括担当の設置を進め、情報提供・支援依頼を一括管理する体制を整備しました。また、事例検討会や合同ケース会議を開催し、支援の質向上と人材育成に努めています。令和6年度時点のハイリスク妊婦の割合は25.7%と令和3年度の18.9%から増加していますが、アンケート結果では、産後1か月程度に「助産師や保健師等からの指導・ケアを十分に受けることができた」と回答した保護者の割合が78.3%と専門職による支援が不安の軽減に寄与していることがうかがえます。

令和7年度からケース支援専任の母子相談担当を設置するなど、より迅速な支援を進めるとともに、令和8年度の（仮称）柏市子ども・若者相談センター開設を見据えて、児童福祉と母子保健との連携をさらに強化していく必要があります。

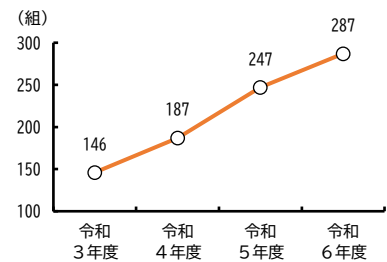
図表 産後、退院してから1か月程度に、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けることができたか



○産後、十分な育児支援や家族のサポートを受けられない家庭を対象に、宿泊型及び通所型、訪問型サービスを提供する産後ケア事業は、令和6年4月に利用対象月齢を1歳まで拡充するとともに、利用者負担額を減免しました。また、宿泊型・デイサービスの併用や、訪問型との組み合わせ利用を開始し、利用者の多様なニーズに応え、令和6年度の利用者が287組となるなど、利用者数が増加しています。

令和7年度に利用条件を緩和し、今後の需要拡大への対応が求められます。

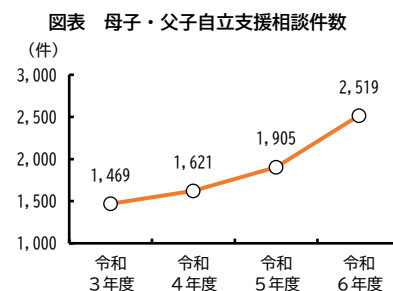
図表 産後ケア事業利用者数



○要保護児童対策事業（要保護児童対策地域協議会）において、児童相談所や警察、教育委員会、保健所、福祉部等、庁内外の関係機関の連携を基盤とし、要保護児童及びその家庭に関する情報共有と支援方針の協議を定期的実施しています。令和6年度の進行管理特定妊婦数は57人となっており、毎月の会議による情報共有や支援方針の調整を行っていますが、事案ごとの状況変化に伴い、よりきめ細かい定期状況確認や支援方針の柔軟な見直しが求められています。また、令和8年度に開設予定の（仮称）柏市こども・若者相談センターを見据え、会議運用のさらなる効率化が課題となっています。

○養育支援訪問事業では、子育てに対する不安や孤立感を抱える家庭、または養育支援が必要と判断された家庭に対し、専門職が計画的に訪問して指導や助言、育児・家事支援を行っています。令和6年度の訪問実施数は22世帯となっており、家庭ごとのニーズに寄り添いながら、専門的な支援を行いました。こども家庭センターの母子保健機能としての役割を有する母子保健課とこども相談センターとの合同会議を定期的で開催し、支援が必要な家庭を早期に把握し、適切な支援へとつなげていくことが重要です。

○母子・父子自立支援相談事業では、ひとり親家庭等に対し、生活に関すること、養育費、就労、離婚前などの相談業務を行っています。相談内容は複雑化している中、令和6年度の相談件数は2,519件と最も多くなっており、関係各課との連携を強化するとともに、相談員の能力向上を図る必要があります。



基本施策②地域の医療、福祉、保育機関等との連携

○医療機関や福祉、保育機関と連携しながら、妊娠子育て相談窓口を核とし、妊娠期から子育て期の多様な家庭を包括的に支援しています。

○特定妊婦や要支援家庭への包括的支援を行うため、母子保健課と児童福祉機関が合同ケース会議を通じて一貫した支援体制を構築しています。令和6年度には、課題共有を効率化するために、母子保健課の子育て包括担当が中心となって関係機関との情報共有を推進しました。令和7年度からケース支援専任の母子相談担当を設置するなど、令和8年度の（仮称）柏市子ども・若者相談センター開設を見据え、さらなるこども相談センターとの連携強化、体制構築を進める必要があります。

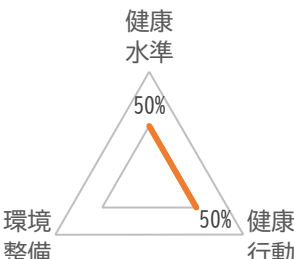
基本目標2 子どもの育ちと子育てを支え合うまち 施策分野（1）子育て・子育て・親育ちの支援

（1）指標の評価

基本目標2 施策分野（1）に該当する4指標のうち、改善した指標は2指標の50%でした。

評価基準	評価指標数	割合	達成率
1 ①改善した（目標を達成した）	1	25.0%	指標総数：4指標  達成率 50%
1 ②目標に達成していないが改善した （達成率50%以上）	1	25.0%	
2 策定時から横ばい（達成率0～49%）	2	50.0%	
3 策定時から低下	0	0.0%	
4 評価できない（判定できない）	0	0.0%	
計	4		

評価基準	指標名
1 ①改善した（目標を達成した）	18 積極的に育児をしている父親の割合
1 ②目標に達成していないが改善した （達成率50%以上）	20 子どものかかりつけ歯科医師を持つ親の割合
2 策定時から横ばい （達成率0～49%）	19 子どものかかりつけ医師を持つ親の割合 21 地域のつどい等に参加している者の割合

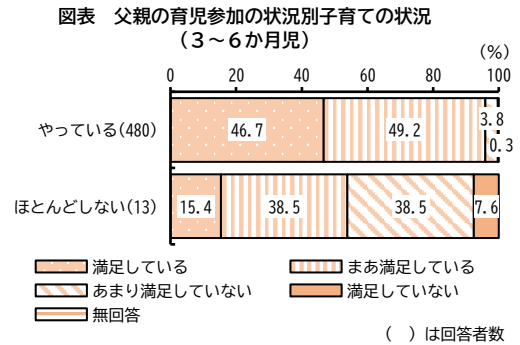
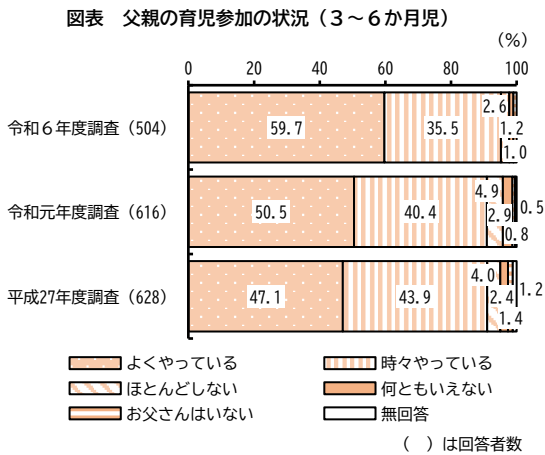
指標の種類	健康水準	健康行動	環境整備	指標の種類別達成度
指標の種類別指標数	2	2	指標なし	 健康水準 50% 健康行動 50% 環境整備
1 ①改善した（目標を達成した）		1		
1 ②目標に達成していないが改善した （達成率50%以上）	1			
2 策定時から横ばい（達成率0～49%）	1	1		
3 策定時から低下				
4 評価できない（判定できない）				

*指標の種類が2種類にまたがる指標もあるため、指標総数と指標の種類別の合計は異なります。

(2) 評価結果の考察

【改善した項目】

◇指標18「積極的に育児をしている父親の割合」が目標値（P20参照）を達成しており、育児への父親の参加が進み、社会の意識が醸成されてきているといえます。アンケート調査では、子育て状況の満足度では、父親が育児に参加している方の満足度が高くなっています。

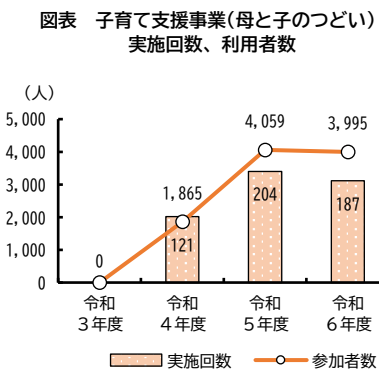
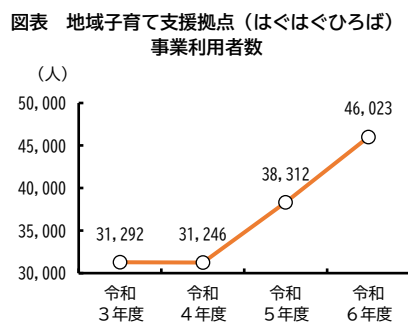


◇指標20「子どものかかりつけ歯科医師を持つ親の割合」は改善しており、子どもの口腔ケアに対する保護者の理解が進んでいるといえます。

【横ばいまたは低下した項目】

◇指標19「子どものかかりつけ医師を持つ親の割合」に改善はみられず**策定時から横ばい**という結果でしたが、約8割の方がかかりつけを持っています。また、一つの医療機関に複数の医師が担当する医療機関も多く、かかりつけ医師として特定できないことも想定されます。

◇指標21「地域のつどい等に参加している者の割合」は**策定時から横ばい**という結果でしたが、地域子育て支援拠点の利用者数は増加しており、低年齢児の居場所にニーズが高いと考えられ、親子が気軽に集える機会の充実を図る必要があります。

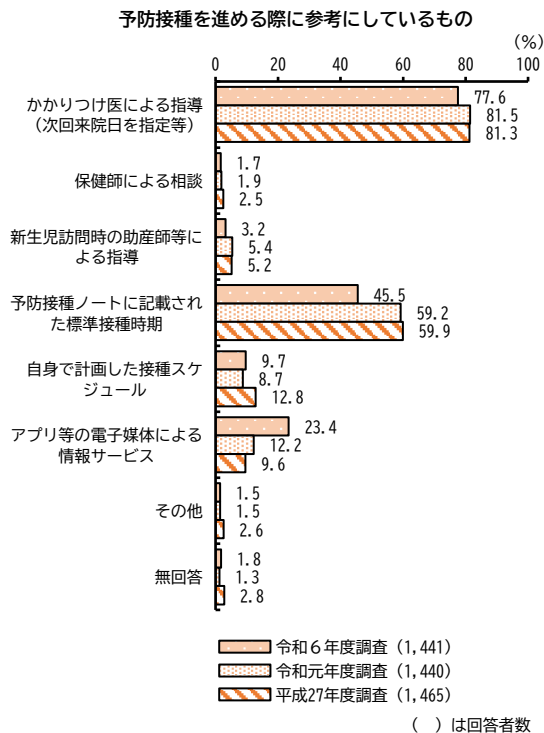


(3) 事業評価

基本施策①育児・健康等の不安の軽減

○妊娠・出産・子育てに関する不安や悩みに対応するため、子育て電話相談（にこにこダイヤルかしわ）を実施し、専任の保健師・助産師が個別支援を提供してきました。令和6年度の相談件数は856件と減少傾向となっていますが、これは、はぐはぐひろばや地域子育て支援センター、子ども・子育て支援複合施設TeToTe、SNS（LINEやチャット等）の多様な相談手段が普及したことによる影響がうかがわれます。にこにこダイヤルかしわは令和6年度で終了しましたが、妊娠子育て相談窓口（ウェルネス柏）の保健師等にて引き続き妊産婦や保護者の相談対応を行っています。

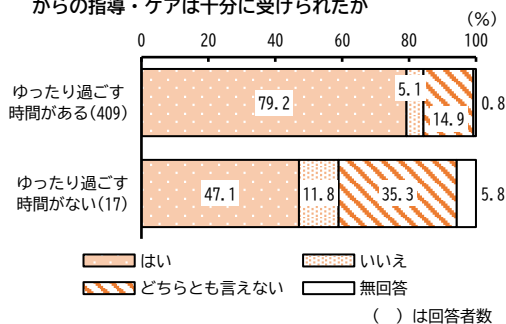
○電子親子手帳サービスでは、スマートフォンやタブレットといった端末を活用して、市内在住の妊産婦や乳児及びその家族を対象に、妊娠や出産、育児に関する豊富でタイムリーな情報発信を行っており、令和6年度時点で登録者数は11,343人となっています。また、アンケート調査では、予防接種を進める際の参考情報として「アプリ等の電子媒体による情報サービス」を利用している割合が23.4%と、平成27年度調査に比べ増加しています。引き続き、時期に応じたタイムリーな情報発信を行うことが重要です。



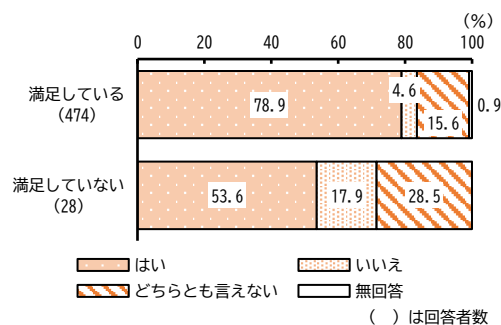
○幼児健康診査において、保護者からの育児に関する不安や悩みを相談できる機関を提供し、子どもの健全な成長と保護者の育児を支援しています。引き続き、保護者が安心して子育てができるよう、関係各課との連携を強化していく必要があります。

○アンケート調査では、母親がゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある方、子育て状況で満足している方は、産後、退院してから1か月程度に、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けることができおり、様々な相談や情報提供の充実が図られてきたことがうかがえます。

図表 母親のゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間の有無別
産後、退院してから1か月程度に、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けられたか

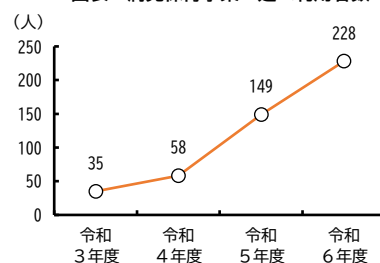


図表 子育て状況への満足度別
産後、退院してから1か月程度に、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けられたか



○病気やけがで集団保育に通えない児童を対象に、一時的な保育を提供している病児保育事業は、保護者の就労支援という視点からも非常に重要な役割を果たしています。令和6年度には利用者が228人と、令和3年度の35人から大幅に増加しました。一方で、病児保育サービスの不足や地域間の偏りといった課題も浮き彫りとなっており、事業展開を検討していく必要があります。

図表 病児保育事業 延べ利用者数



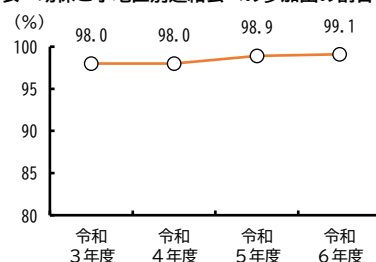
基本施策②地域の医療、福祉、保育、教育機関等との連携

○特定妊婦や要支援家庭への包括的支援を行うため、母子保健課と児童福祉機関が合同ケース会議を通じて一貫した支援体制を構築しています。令和6年度には、課題共有を効率化するために、母子保健課の子育て包括担当が中心となって関係機関との情報共有が推進されました。令和7年度からケース支援専任の母子相談担当を設置するなど、令和8年度の(仮称)柏市子ども・若者相談センター開設を見据え、さらなる子ども相談センターとの連携強化、体制構築を進める必要があります。

○幼稚園、保育園、こども園と小学校の滑らかな接続を目指し、幼保こ小連絡協議会を中心に取り組みを進めています。園と小学校が協働して、遊びを通じた学びの重要性を共有し、架け橋期の教育の充実を図っており、令和6年度の地区別連絡会への参加園率は99.1%と高い水準を維持しています。

学びの連続性を重視した教育課程の実施・評価を進めるとともに、保護者や地域住民を巻き込んだ啓発活動を充実させ、地域全体で子どもの成長を支える仕組みをさらに強化していく必要があります。

図表 幼保こ小地区別連絡会への参加園の割合



基本施策③子育て，子育て，親育ちに関する啓発・環境整備

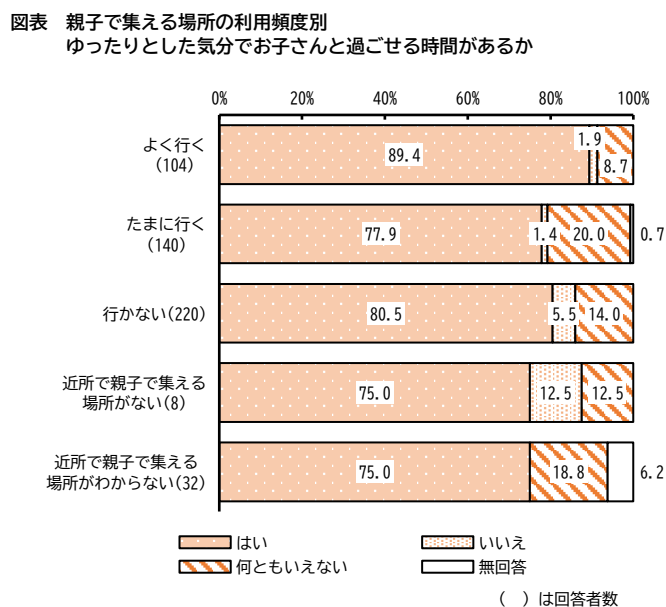
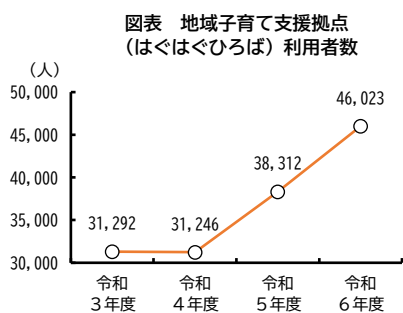
○生後2～5か月の第一子を育てる母親を対象に，初めての母親同士の交流や育児に関して学ぶプログラムであるBPプログラムを実施しています。参加者のアンケート結果では，満足度が高く，プログラム終了後も参加者同士の交流が継続しているという報告もあり，母親の仲間づくりにもつながっています。

また，3～6歳の子どもの保護者を対象にペアレントプログラムを実施し，子どもの行動に対する褒めるポイントを学び，子育てを楽しめる関係づくりを支援しています。参加者のアンケート結果で，子どもへの関わり方を学ぶことで育児不安や負担が軽減されたという結果も出ています。さらに，令和4年度から導入したフォローアップ講座による振り返りや支援を行っています。

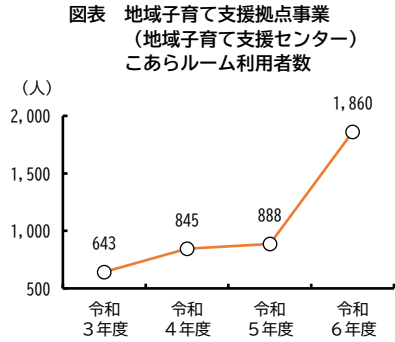
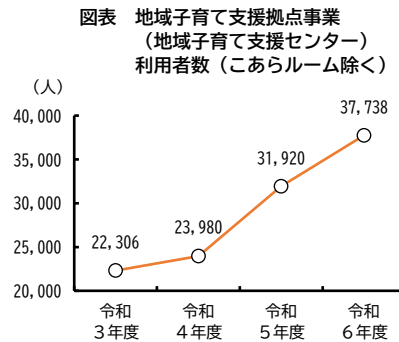
○乳幼児の親子が気軽に集うことのできる地域子育て支援拠点「はぐはぐひろば」を運営し，地域での子育て家庭を支える環境づくりを進めています。子育てに関する情報提供や育児相談を通じて家庭の課題解決を図るとともに，親子同士が交流し，仲間づくりや親育ちを促進しています。令和6年2月には，人口増が見込まれる北部地域にはぐはぐひろば柏たなかを新規開設し，利用者数は令和5年度の38,312人から令和6年度には46,023人に増加しています。

アンケート調査結果では，親子で集える場所の利用頻度の高さと，親がゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある割合が高く，こうした事業が孤立感や育児負担の軽減につながっていることも考えられます。

一方で，近所で気軽に親子が集える場所を知らないと回答する割合が多く，地域情報の周知や利用促進が求められます。



○地域子育て支援拠点（地域子育て支援センター）では、親子で遊ぶ場を提供するとともに、他の親子との交流や情報交換の機会を創出することで、親子が地域で孤立せず、負担感を軽減できる環境を整えています。令和6年度では、市後援事業「子育て支援スタンプラリー」のチェックポイントとして支援センターを設定したことで利用促進を図り、利用者数は37,738人と増加しました。また、こあらルーム（酒井根保育園を拠点）では、季節の製作活動や丁寧な育児相談を通じて親子交流を強化し、利用者数は1,860人と増加しています。

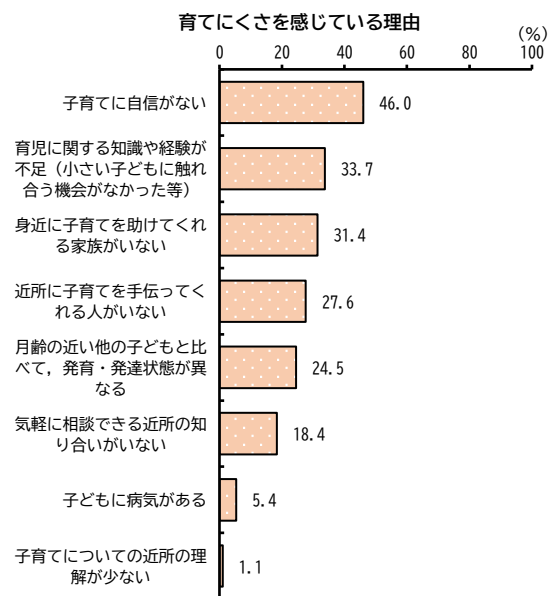


○子育て応援イベントはぐはぐフォーラムの開催や子育て応援情報紙「touch」の作成、子育てのスキルアップ講座など、市民が主体となり子育て支援を推進しています。

○子育てサイトはぐはぐ柏やLINE, Instagram等による子育て支援情報やイベント等の発信、電子親子手帳サービスによる妊娠や育児に関する安心・便利・楽しみの情報提供を行っています。引き続き、認知度や利用者の増加を目指すとともに、時期に応じたタイムリーな情報発信を継続していくことが重要です。

○0歳～18歳の子どもとその保護者を対象に、児童センターを運営しています。令和6年度の利用は、利用者数が112,522人となっており、特に乳幼児親子の利用が増加するなど、地域子育て支援拠点として利用者間の交流や親育ちを促進する地域子育て支援拠点として機能しています。

○妊娠子育て相談窓口では、親育ちを促進するための相談体制を強化し、妊娠期から出産後の家庭が適切な相談や子育てのアドバイス等を受けられる環境を整備するとともに、情報提供も含め、切れ目のない支援を行っています。アンケート調査結果では、育てにくさを感じる理由として、「子育てに自信がない」「育児に関する知識や経験が不足（小さい子どもに触れ合う機会がなかった等）」「身近に子育てを助けてくれる家族がない」「近所に子育てを手伝ってくれる人がいない」など様々な理由が挙がっており、引き続き、妊娠期から出産・子育てまで一貫して切れ目のない支援を行うための人材の育成・確保が必要です。



回答者数 261

基本目標2 子どもの育ちと子育てを支え合うまち 施策分野(2) 健やかな体と心をつくる学びの推進

(1) 指標の評価

基本目標2 施策分野(2) に該当する12指標のうち、改善した指標は5指標の42%でした。

評価基準	評価指標数	割合	達成率
1 ①改善した(目標を達成した)	2	16.7%	指標総数：12指標  達成率 42%
1 ②目標に達成していないが改善した(達成率50%以上)	3	25.0%	
2 策定時から横ばい(達成率0~49%)	1	8.3%	
3 策定時から低下	6	50.0%	
4 評価できない(判定できない)	0	0.0%	
計	12		

評価基準	指標名
1 ①改善した (目標を達成した)	22 若年妊婦による妊娠届出数(届出時20歳未満) 29 十代の人工妊娠中絶率
1 ②目標に達成していないが 改善した(達成率50%以上)	30 十代の性感染症罹患率 35 十代の飲酒率 37 規則的な生活リズムで生活する児の割合
2 策定時から横ばい (達成率0~49%)	34 十代の喫煙率
3 策定時から低下	23 朝食を子どものみで食べている児の割合 28 妊娠中の食事(三食)の摂取状況 31 小中学生の痩身傾向児(肥満度-20%以下)の割合 32 小中学生の肥満傾向児(肥満度+20%以上)の割合 33 歯肉に炎症がある十代の割合 36 朝食を欠食する小中学生の割合

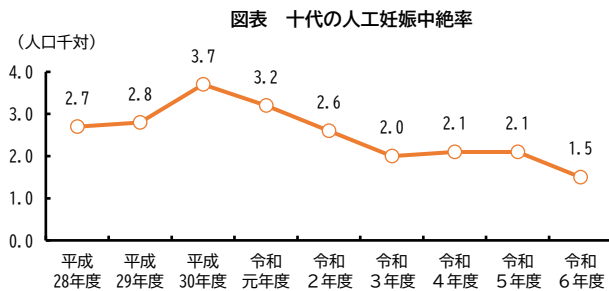
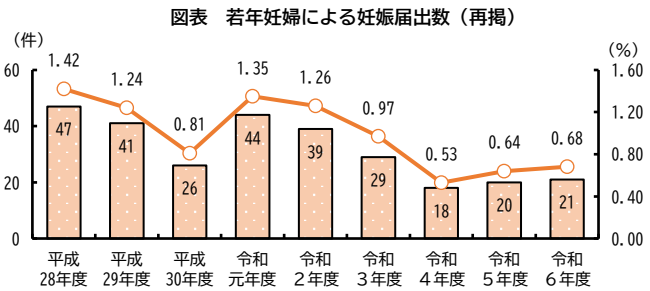
指標の種類	健康水準	健康行動	環境整備	指標の種類別達成度
指標の種類別指標数	11	9	指標なし	 健康水準 45% 健康行動 44% 環境整備
1 ①改善した(目標を達成した)	2	2		
1 ②目標に達成していないが改善した (達成率50%以上)	3	2		
2 策定時から横ばい(達成率0~49%)	1	1		
3 策定時から低下	5	4		
4 評価できない(判定できない)				

※指標の種類が2種類にまたがる指標もあるため、指標総数と指標の種類別の合計は異なります。

(2) 評価結果の考察

【改善した項目】

◇指標22「若年妊婦による妊娠届出数（20歳未満）」と指標29「十代の人工妊娠中絶率」が目標値を達成しており，若年層の妊娠・中絶関連指標の改善は重要な成果といえます。

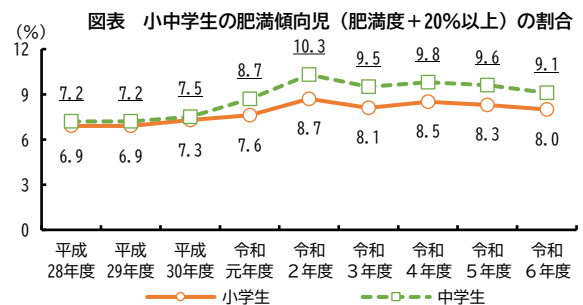
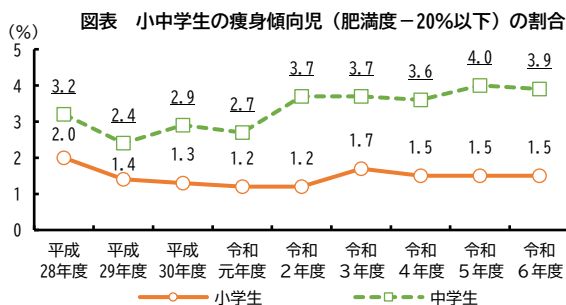
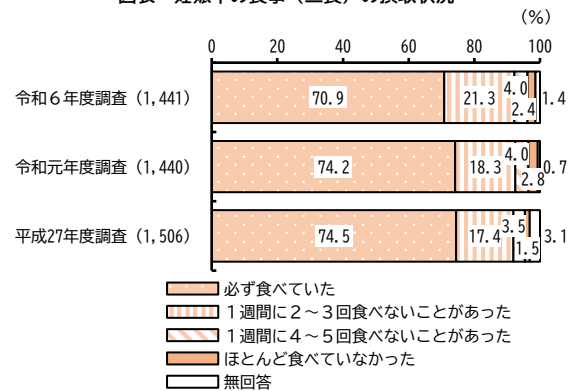


◇指標30「十代の性感染症罹患率」，指標35「十代の飲酒率」，指標37「規則的な生活リズムで生活する児の割合」は改善していますが，目標値には未達であり，引き続き，プレコンセプションケアや思春期保健健康教育などにおける啓発や支援活動が必要です。

【横ばいまたは低下した項目】

◇指標28「妊娠中の食事（三食）の摂取状況」が策定時から低下し，指標31「小中学生の痩身傾向児の割合」及び指標32「小中学生の肥満傾向児の割合」が共に増加しており，幼少期や妊娠中の栄養状態が自身の健康だけでなく将来生まれてくる児に与える影響も含めた啓発（プレコンセプションケア）が必要です。

図表 妊娠中の食事（三食）の摂取状況



- ◇指標31「小中学生の痩身傾向児の割合」及び指標32「小中学生の肥満傾向児の割合」の増加、指標33「歯肉に炎症がある十代の割合」の増加、指標36「朝食を欠食する小中学生の割合」の増加など、子どもの健康状態に関わる指標が**策定時から低下**しており、小中学校等の教育機関を含めた取り組みが必要です。
- ◇指標34「十代の喫煙率」は、**策定時から横ばい**という結果であり、さらなる啓発が必要です。
- ◇指標23「朝食を子どものみで食べる割合」については、**策定時から低下**となりましたが、アンケート調査で追加質問をしたところ、そばに見守る家族がいることがわかり、孤食ではないことが判明しています。

(3) 事業評価

基本施策①心身の健康づくりの基本に関する教育の推進

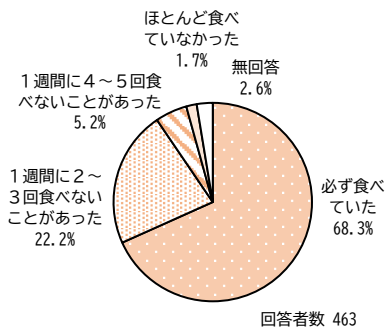
- 小学生、中学生、高校生を対象に、生や性に関する正しい知識を身につけることを目的として、思春期保健健康教育を実施しました。性感染症や若年妊娠のリスク、メディアリテラシーについて講話による啓発を行うほか、妊婦ジャケット体験や赤ちゃん人形を用いた世話体験、親子ふれあい体験を通じた体験学習等を行っています。
- 学校等と連携してH I V／エイズを含む性感染症予防の啓発を実施する他、プライバシーに配慮した検査・相談体制整備を推進しています。
- 性について正しい理解を深めるとともに、生命の尊さを実感し、自他ともに尊重される関係性を築けるよう、いのちの教育の推進に取り組んでいます。令和6年度には、市内42小学校のうち32校、21中学校のうち19校で、外部講師を招いたいのちの授業を実施しました。

基本施策②健康的な生活習慣の獲得に向けた環境整備

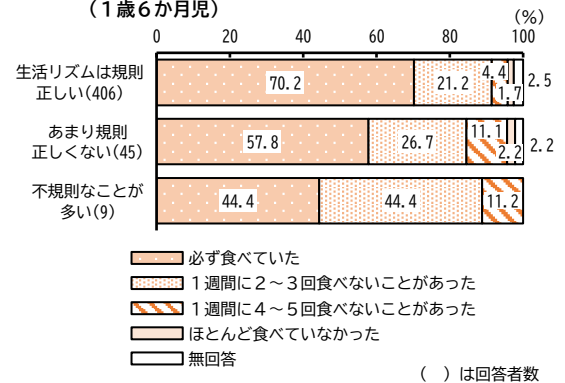
- 電子親子手帳サービス等を通じて、妊娠期から育児期における情報提供を行っています。プッシュ通知により、市からの育児に関するお知らせなどを通して、望ましい生活習慣の大切さを伝えています。

○保健栄養事業を通じて、妊娠期から乳幼児期の健康的な食習慣の獲得ができるよう、食育を推進してきました。アンケート結果では、1歳6か月児の母親の「妊娠中に朝食・昼食・夕食の三食を必ず食べていましたか」という質問に、「必ず食べていた」と答えた割合が68.3%となっています。また、1歳6か月児の生活リズムの状況別にみると、『生活リズムは規則正しい』ほど三食を「必ず食べていた」の割合が高くなっており、こどもの頃からの健康的な食習慣の定着に向けた食育の取組を継続して実施することが重要です。

図表 妊娠中の母親の朝食・昼食・夕食の三食状況（1歳6か月児）



図表 子どもの生活リズムの状況別
妊娠中の母親の朝食・昼食・夕食の三食状況
(1歳6か月児)



○思春期保健事業では、児童・生徒が自己の生や性を肯定的に捉え、年齢や成長に応じた行動ができるよう、思春期健康教育を行い、児童・生徒が自分の身体や心を理解することを促進しています。性感染症や若年妊娠のリスクを含めた生や性の啓発や、身体と心に対する正しい理解の促進を図っています。

○母子保健事業を活用した歯や口の健康づくりに関する相談や啓発を実施しています。関係機関と連携を図り、引き続き歯や口の健康づくりを推進していきます。

○地域活動団体や子育てに関わる団体グループの依頼を受け、保健師、管理栄養士、歯科衛生士などが健康教育を実施しています。子育てや健康に関する正しい知識を身につけられるよう、周知を図る必要があります

○運動習慣の定着を目的に柏ウォーキングパスポートを作成・配布し歩数に応じた景品を提供するなど、健康づくりを促進しました。令和6年度をもって配布終了し、柏健康アプリ ワニFitを活用したウォークの推進に移行しています。

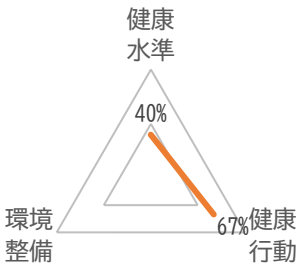
基本目標3 配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支えあうまち 施策分野（1）配慮が必要な子ども及び配慮が必要な 子育て家庭への切れ目ない支援

（1）指標の評価

基本目標3施策分野（1）に該当する5指標のうち、改善した指標は2指標の40.0%でした。

評価基準	評価指標数	割合	達成率
1 ①改善した（目標を達成した）	0	0.0%	指標総数：5指標  達成率 40%
1 ②目標に達成していないが改善した（達成率50%以上）	2	40.0%	
2 策定時から横ばい（達成率0～49%）	2	40.0%	
3 策定時から低下	1	20.0%	
4 評価できない（判定できない）	0	0.0%	
計	5		

評価基準	指標名
1 ②目標に達成していないが改善した（達成率50%以上）	26 乳幼児期に体罰や暴言、ネグレクト等によらない子育てをしている親の割合 38 母が育てにくさを感じている割合
2 策定時から横ばい（達成率0～49%）	24 ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合 25 子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合
3 策定時から低下	27 乳幼児揺さぶられ症候群（SBS）を知っている親の割合

指標の種類	健康水準	健康行動	環境整備	指標の種類別達成度
指標の種類別指標数	5	3	指標なし	 健康水準 40% 健康行動 67% 環境整備
1 ①改善した（目標を達成した）				
1 ②目標に達成していないが改善した（達成率50%以上）	2	2		
2 策定時から横ばい（達成率0～49%）	2	1		
3 策定時から低下	1			
4 評価できない（判定できない）				

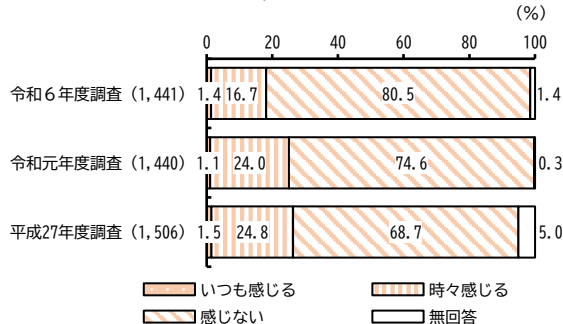
※指標の種類が2種類にまたがる指標もあるため、指標総数と指標の種類別の合計は異なります

(2) 評価結果の考察

【改善した項目】

◇指標26「乳幼児期に体罰や暴言、ネグレクト等によらない子育てをしている親の割合」や指標38「母が育てにくさを感じている割合」が改善しています。アンケート調査では、育てにくさを感じている保護者が約2割おり、計画策定時より減少していますが、引き続き、保護者への支援や負担軽減に向けた取り組みが必要です。

図表 お子さんに対して、育てにくさを感じているか (%)

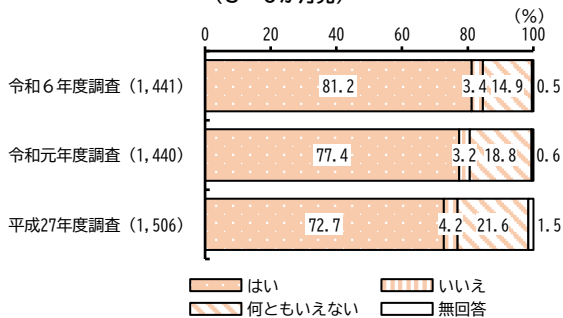


() は回答者数

【横ばいまたは低下した項目】

◇指標24「ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合」は、すこしずつ増加しています。共働き家庭が増え、父母が協力して育児を担うようになり、精神的な負担が軽減されていることも要因と思われます。

図表 ゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間があるか (3~6か月児)



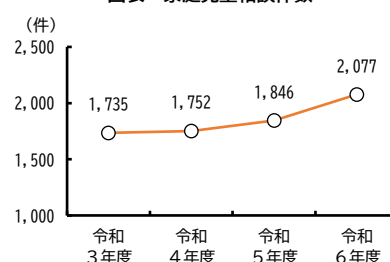
() は回答者数

(3) 事業評価

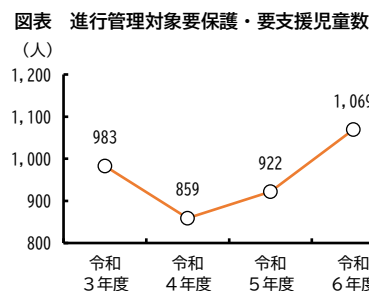
基本施策①要支援家庭への個別支援の充実

○家庭児童相談事業（子ども家庭総合支援拠点）では、妊産婦や子ども、その家庭を対象に、個々の状況を的確に把握し、相談対応を通じて問題解決に向けた支援を継続的に提供しています。令和6年度11月には、児童福祉法改正に伴い、子ども家庭総合支援拠点をこども家庭センターに位置づけ、児童福祉機能と母子保健機能の連携を図りました。相談件数は年々増加し、令和6年度には2,077件となっています。統括支援員のもと、児童福祉機能（こども相談センター）及び母子保健機能（母子保健課）の連携を強化しながら、より一体的な支援に繋げていくことが課題です。

図表 家庭児童相談件数



○要保護児童対策地域協議会では、児童相談所や警察などの庁外機関、教育委員会や保健所、福祉部など庁内の関係部署と実務者会議を毎月開催し、情報共有を通じて迅速かつ切れ目のない支援を行っています。令和6年度の進行管理対象となる要保護・要支援児童数が1,069人と増加しており、関係機関との更なる連携を強化し、よりきめ細かい定期的な状況確認及び支援の評価、支援方針の見直しを実施していくとともに、(仮称)柏市こども・若者相談センターの開設を見据え、実務者会議を含む運用の見直しを行う必要があります。



○親が子どもに対する具体的で効果的な対応を身につけるためのペアレントトレーニングを集団や個別で実施しています。集団参加が困難な保護者に対しても個別支援を実施することで利用機会の拡大を図りました。

○安心安全な出産や産後の養育に配慮を要する家庭(特定妊婦・要支援家庭)に対し、専門職等が他機関と連携して相談支援を行っています。令和6年度には、リスク区分に応じたケース支援の導入を進め、児童福祉との連携を目的として母子保健課に子育て包括担当を設置することで、情報及び支援依頼を一元管理し、迅速な対応を行いました。令和7年度からケース支援専任の母子相談担当を設置するなど、令和8年度の(仮称)柏市子ども・若者相談センター開設を見据えて、こども相談センターとの連携を強化していく必要があります。

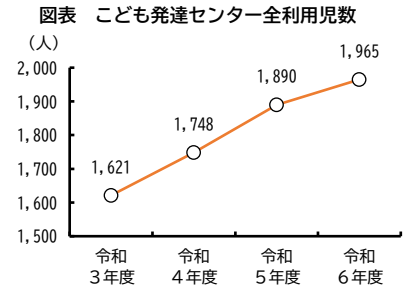
○1歳6か月児健康診査後の経過観察が必要と認められた子どもとその保護者を対象に、ひよこルームを運営しました。参加延人数は増加傾向にあり、令和6年度は261人でした。一方で、民間療育や地域資源の増加状況を踏まえ、教室形式のひよこルームは令和6年度で終了し、個別支援に移行しています。引き続き、こども発達センターや児童センター、子育て支援拠点等との連携を強化し、きめ細やかな支援を行うことが重要です。

○医療的ケアが必要な障がい児・者やその家庭を支援するため、喀痰吸引等の医療的ケアを行うための研修費助成及び柏市障害児等医療的ケア支援連絡会の運営を行いました。

基本施策②発達発育・養育環境等の不安の軽減

○発達相談は、児の発達に課題を抱える保護者からの相談に対応しています。早期の段階から保護者の悩みに向き合い、適切な助言を提供するとともに必要に応じてこども発達センターなど専門の療育機関へつないでいます。

○子どもの発達に関する悩みや心配を抱える家庭を対象に、公認心理師等の専門職が相談に応じ、発達の見立てや助言を行う外来療育相談支援を実施しています。こども発達センターの全利用児数は年々増加しており、令和6年度は1,965人となっています。



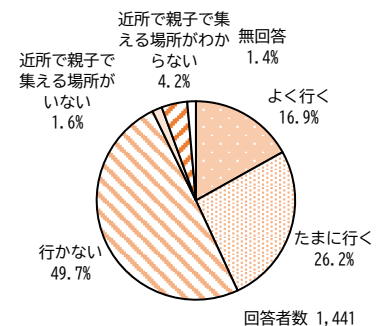
○小児慢性特定疾病児童の健全な育成を推進することを目的に、小児慢性特定疾病に係る医療費の一部を助成しています。申請時の面談やニーズを把握するなど、小児慢性特定疾病児童の自立支援に向けた取組の検討が必要です。

○産前・産後の育児負担が大きい多胎家族を対象に支援を行っています。妊娠届出の機会に情報誌の手渡しやオンラインサークルの紹介、産後ケア事業における多胎児を対象とした便宜を図るなどの対応を行っています。

○2,000g以下で出生した児や養育医療給付を受けた児を対象に、保健師による面談を実施し、低出生体重児に特有の育児や成長・発達に関する不安に寄り添っています。養育医療申請時の保護者との面談で得た情報を地域担当保健師へ共有することで、育児不安や支援者不足といったニーズに対応する取組へつないでいます。

○地域子育て支援拠点を通じ、育児相談など保護者が抱える養育環境の不安や負担感を軽減する取り組みを進めています。アンケート結果では、親子で子育てサロン、地域子育て支援センター、児童センター、サークル等へ行っている人は43.1%となっていますが、近所で親子と交流できる場所が不明であると回答する割合が一定数おり、さらなる情報提供とアクセス改善が必要です。

図表 親子が集える場所に行っているか



基本施策③発達障害に関する正しい理解と適切な支援の普及啓発

○発達が気になるこどもを抱える幼稚園やこども園、保育園などの施設を訪問し、職員を対象に助言を行う障害児等療育支援事業（巡回相談）を実施しています。巡回利用希望の園が増加しており、職員が発達の気になるこどもへ希望と自信をもって対応できるよう、相談者のニーズに応じて共同で解決策を考える姿勢を重視し、柔軟な対応を行うことが重要です。

基本施策④地域の医療，福祉，保育，教育，療育機関等との連携の強化

- 幼稚園やこども園，保育園などに通う障がい児に対し，集団生活に適応できるよう保育所等訪問支援事業を実施しています。定期的な訪問により，訪問先の職員に対する障がいのあるこどもへの理解や関わり方の技術向上に貢献しています。引き続き，支援の質を向上させるとともに，インクルーシブ保育の推進を図ることが重要です。
- 年長児や小中学生の保護者を対象に，こどもの発達に応じた適切な就学先を提案する就学相談を実施しており，申込者数は令和6年度で465件と年々増加し，早期に療育につながるなど，発達課題に適切に対応したいという保護者のニーズが増加していることが明らかになっています。

第4章 今後の母子保健事業について

令和7年度をもって柏市母子保健計画が期間満了となるため、令和8年度以降の母子保健事業に関する取り組みについては、以下のとおり、基本方針を定めて指標管理を行ってまいります。

基本方針は、令和10年度に第三期柏市子ども・子育て支援事業計画に包含し、こども施策と母子保健の一体的な実施に向けて、さらに取り組みを進めていく予定です。

評価指標については、成育医療等基本方針で市町村に求められる指標に加えて、柏市が母子保健計画において大切に管理してきた指標を追加し、引き続き取り組みを進めてまいります。

柏市母子保健事業に関する基本方針

○基本理念

「みんなで支え すべての子どもの幸せが つづいていくまち かしわ」

○施策展開の方向

- 1 子育て・親育ちの環境づくりを進めます。
- 2 情報提供・相談体制の充実を図ります。
- 3 児童虐待の防止に取り組みます。
- 4 障がいのある子どもへの支援を行います。

○審議体制

柏市子ども・子育て会議にて評価指標の管理を行う予定。

○期間

令和8年度・令和9年度の2か年

(令和10年度から第三期子ども・子育て支援事業計画(中間見直し)に包含予定)

○評価指標

- ・評価する指標数 27指標
- ・参考にする指標数 27指標

第5章 参考

1 柏市保健衛生審議会母子保健部会委員名簿

令和7年度に柏市母子保健計画の最終評価及び基本方針(評価指標含む)に対し、協議及び助言をいただきました。

令和7年度柏市保健衛生審議会母子保健部会 委員名簿

	所 属・役 職	氏 名	備考
1	千葉県助産師会監事	足 立 千賀子	
2	東京成徳大学応用心理学部臨床心理学科准教授	菊 池 春 樹	
3	公募委員	北 川 希代子	
4	柏市医師会理事	窪 谷 潔	
5	千葉県柏児童相談所柏末広支所長	小松崎 禎	
6	千葉県立保健医療大学副学長	佐 藤 紀 子	部会長
7	柏市認定こども園協議会	杉 山 拓 人	
8	柏市私立幼稚園協会渉外委員会委員長	武 田 宗一郎	
9	東京慈恵会医科大学附属柏病院小児科診療部長	南 波 広 行	副部会長
10	柏市小中学校校長会柏市立風早北部小学校校長	萩 原 亜希子	
11	柏市私立認可保育園協議会 柏みどりこども園園長	林 恵 子	
12	柏市民健康づくり推進員連絡協議会会長	村 上 広 子	
13	柏歯科医師会衛生委員会副委員長	吉 田 聡 子	
14	学校法人食糧学院東京栄養食糧専門学校校長	渡 邊 智 子	

(敬称略 50音順)

2 令和6年度柏市母子保健計画に関する調査結果（概要）

※H27は計画策定時，R1は中間評価時におこなった調査結果を表記。

※以下3～6か月は「乳児」，1歳6か月児は「1.6健」，3歳児は「3健」とする。

ア 回答者属性

- ① 回答者の居住地
 - ・4地区（北部・中央・南部・東部）で「中央」が一番多い（37.8%）
 - ・R1は3地区（北部・中央・南部）で「北部」が一番多い
- ② 回答者の年齢
 - ・回答者は「母親」が多く（95.0%）で，「30～34」「35～39」歳で約7割を占める
- ③ 回答者の職業
 - ・「会社員」が最も多い（46.7%）
 - ・R1「専業主婦」が一番多い
- ④ 回答者の居住年数 「5年未満」が最も多い（51.9%）
- ⑤ 回答者を除く同居家族の人数
 - ・「3人」が最も多く（38.8%），次いで「2人」が多い（35.4%）
 - ・H27は「2人」が一番多い
- ⑥ 同居している子どもの人数
 - ・「2人」が最も多く（43.5%），次いで「1人」が多い（42.7%）
 - ・R1は「1人」が最も多く，次いで「2人」が多い

イ 子どもについて

- ① 何番目の子どもか 「第1子」が最も多い（51.0%）

ウ 妊娠，出産時の状況

- ① 妊娠中及び産後の相談相手は，概ね存在している
 - ・H27 94.0% ⇒ R1 98.3% ⇒ R6 97.6%
- ② 妊娠中及び産後の相談相手 相談相手は「配偶者」が多い（90.8%）
- ③ 妊娠中の母親の喫煙 「なし」と回答した者が多い
 - ・H27 94.7% ⇒ R1 97.7% ⇒ R6 97.6%
- ④ 妊娠中の母親の飲酒 「なし」と回答した者が多い
 - ・H27 94.8% ⇒ R1 98.1% ⇒ R6 98.4%
- ⑤ 妊娠中の母親の三食の摂食 「必ず食べていた」が約7割
 - ・H27 74.5% ⇒ R1 74.2% ⇒ R6 70.9%
- ⑥ 妊娠中の母親の就業 「働いていたことがある」が約7割
 - ・H27 53.9% ⇒ R1 64.3% ⇒ R6 70.4%

改善

増加

- ⑦ 妊娠、出産の状況は満足度が高い
 ・ H27 91.1% ⇒ R1 91.3% ⇒ R6 92.1% 増加
- ⑧ 産後1か月くらいの間の子育て場所
 ・ 「柏市の自宅」が最も多く (55.4%), 次いで「お母さんの実家」(34.7%)
 ・ H27は「お母さんの実家」が最も多い
- ⑨ 産後1か月くらいの間の子育て場所 (実家の場合)
 ・ 「お母さんの実家」や「お父さんの実家」と回答した実家は「柏市内」が最も多い (25.0%)
- ⑩ 産後、退院してからの1か月くらいの間は、概ね手伝ってくれる人が存在している
 ・ H27 89.4% ⇒ R1 94.0% ⇒ R6 94.0%
- ⑪ 産後、退院してからの1か月くらいの間には手伝ってくれた人
 ・ 「配偶者 (お子さんの父や母)」が最も多く、増加している
 ・ R1は「お子さんの母方祖父母」が最も多い
- ⑫ 「2週間健康診査」は約半数の人が受診している
 ・ H27 41.2% ⇒ R1 56.5% ⇒ R6 66.1% 増加
- ⑬ 退院後1か月程度、助産師や保健師等からの十分な指導・ケアを受けられたとの認識を持っている人は増加
 ・ H27 55.5% ⇒ R1 65.1% ⇒ R6 78.3% 増加
- ⑭ 生後1か月時の栄養法の希望は「混合」が最も多い
 ・ R1までは「母乳」が最も多い
 ・ H27 27.6% ⇒ R1 39.3% ⇒ R6 56.0% (混合)
 ・ H27 68.4% ⇒ R1 57.2% ⇒ R6 37.3% (母乳) 減少
- ⑮ 生後1か月時の栄養法の実際は、「混合」が最も多い
 ・ H27は「母乳」が最も多い
 ・ H27 43.1% ⇒ R1 49.8% ⇒ R6 58.3% (混合) 増加
 ・ H27 50.5% ⇒ R1 44.0% ⇒ R6 30.5% (母乳)

エ 現在の子育て状況

- ① 子育ての満足度は、概ね満足している
 ・ H27 91.6% ⇒ R1 93.0% ⇒ R6 94.0% 増加
- ② 子どもが寝る時間は、「21時台」が最も多い (45.5%)
- ③ 子どもが起きる時間は、「7時台」が最も多い (49.0%)
- ④ 子どもの生活リズムは、概ね規則正しい状況 (85.9%)
- ⑤ 子どもの朝食の摂食状況 改善
 ・ 「必ず食べている」が最も多い
 ・ 1.6健 H27 88.3% ⇒ R1 95.8% ⇒ R6 95.7%
 ・ 3健 H27 86.3% ⇒ R1 91.0% ⇒ R6 94.5%
 ・ 朝食を摂っている人は、「家族」が最も多い (70.0%)

- ⑥ 野菜料理を含む子どもの食事は、「夕食」が最も多い (92.4%)
- ⑦ 子育て中の母親の多くは喫煙をしていない
・ H27 88.3% ⇒ R1 95.8% ⇒ R6 94.7%(喫煙なし・母)
- ⑧ 子育て中の父親の多くは喫煙をしていないが、母親に比べ高い (乳児)
・ H27 66.7% ⇒ R1 72.7% ⇒ R6 76.8% (喫煙なし・父) 改善
- ⑨ こどものかかりつけの医師を、概ねもっている (80.6%)
- ⑩ 休日や夜間の子どもが急病の時に診察してもらえる医療機関等の情報は、概ね認知されている
・ H27 78.1% ⇒ R1 85.7% ⇒ R6 80.3%
- ⑪ ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親は約8割(乳児)
・ H27 72.7% ⇒ R1 77.4% ⇒ R6 81.2% 改善
- ⑫ 多くの父親が育児に関わっている (乳児)
・ H27 47.1% ⇒ R1 50.5% ⇒ R6 59.7% 改善
- ⑬ 子どもに対し育てにくさ
・ 「感じない」が多いが (80.5%), 約2割程度の母親は「感じている」
・ 育てにくさの内容は、「子育てに自信がない」が最も多い (46.0%)
- ⑭ 子どもの社会性発達の認知は、約9割であった
・ 乳児 乳幼児揺さぶられ症候群 (96.2%)
・ 乳児 親の後追いをする (97.4%)
・ 1.6健 何かに興味を持った時に、指さしで伝える (93.7%)
・ 3健 他人の子どもから誘われれば遊びに加わる (83.8%)
- ⑮ 浴室ドアへの工夫がある割合は増加 (1.6健)
・ H27 51.3% ⇒ R1 48.8% ⇒ R6 57.0% 改善
- ⑯ 親子が集える場所は「行かない」人が最も多い
・ H27 45.9% ⇒ R1 52.0% ⇒ R6 49.7% (行かない)
- ⑰ 子どもとの外出時に声をかけてくれる近所的人是約7割
・ H27 83.3% ⇒ R1 77.3% ⇒ R6 73.1% 減少
- ⑱ 今後もこの地域で子育てをしていきたい人が多い
「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の割合
・ H27 88.8% ⇒ R1 90.8% ⇒ R6 90.8%
- ⑲ 子どもとの外出時に声をかけてくれる近所の人があると、
今後もこの地域で子育てをしていきたいと思う割合が高くなる
・ 今後もこの地域で子育てをしていきたいと「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の割合
乳児 (R6) : 近所の人がいる→92.6%, 近所の人がない→81.5%
1.6健 (R6) : 近所の人がいる→94.4%, 近所の人がない→90.2%
3健 (R6) : 近所の人がいる→93.9%, 近所の人がない→89.3%
- ⑳ 予防接種を進める際の参考は、「かかりつけ医による指導」が最も多く (77.6%),
次いで「予防接種ノート記載の標準接種時期」(45.5%)

オ 災害の備えについて

- ①災害へ備えているのは約6割
- ②家庭で災害の備えは「最低3日分の水と食料の備蓄」が最も多い（80.9%）

カ 今後の母子保健サービスのあり方

- ① 母子保健サービスのニーズは、「出産後、育児や家事を手伝ってくれるサービスの提供」が最も多い（58.2%）
- ② 妊娠・出産・育児に関するサービス利用に関して保健師等による調整・案内等を要望はやや高い
 - ・ H27 67.8% ⇒ R1 65.6% ⇒ R6 60.2%
 - ・ 乳児で要望が高い(68.7%)

キ 母子に関連するサービス等の利用状況

- ① 「利用した」が多いサービス
 - ・ 乳児 新生児訪問、乳児一般健康診査の助成（3～6か月）、妊婦一般健康診査の助成、子育てサイト「はぐはぐ柏」、かしわこそだてハンドブック
 - ・ 1.6健 1歳6か月児健康診査、新生児訪問、乳児一般健康診査の助成（3～6か月）、乳児一般健康診査の助成（9～11か月）、妊婦一般健康診査の助成、子育てサイト「はぐはぐ柏」
 - ・ 3健 3歳児健康診査、1歳6か月児健康診査、新生児訪問、乳児一般健康診査の助成（3～6か月）、乳児一般健康診査の助成（9～11か月）、妊婦一般健康診査の助成
- ② 「利用していない」が多いサービス
 - ・ さわやかサービス
- ③ 利用して満足度が高いサービス
 - ・ 乳児 産後ケア、新生児訪問、さわやかサービス、離乳食教室、乳児一般健康診査の助成（3～6か月）
 - ・ 1.6健 さわやかサービス、産後ケア、母と子のつどい、乳児一般健康診査の助成（9～11か月）、乳児一般健康診査の助成（3～6か月）、保育園の一時保育・幼稚園の預かり保育、離乳食教室、ママパパサロン、ファミリー・サポート・センター、8か月児相談、新生児訪問、にこにこダイヤルかしわ
 - ・ 3健 フッ化物歯面塗布事業（2歳6か月頃）、さわやかサービス、産後ケア、にこにこダイヤルかしわ、保育園の一時保育・幼稚園の預かり保育、乳児一般健康診査の助成（3～6か月）、乳児一般健康診査の助成（9～11か月）
- ④ 「利用していない」理由として「存在を知らない」が最も多く、次いで「必要性を感じない」が多い
- ⑤ 幼児健診（1歳6か月児健診・3歳児健診）は、概ね満足している
 - ・ 1歳6か月児健診 90.9%
 - ・ 3歳児健診 87.7%

ク 転入に関する状況

① 妊娠中や子育て中の2～3割の人が転入者

・H27 22.0% ⇒ R1 26.1% ⇒ R6 28.0%

増加



柏市母子保健計画 最終評価

令和 8 年 3 月

発行: 柏市

作成: 柏市こども部母子保健課

〒277-0004 千葉県柏市柏下 65-1 ウェルネス柏内

TEL: 04-7167-1257

FAX: 04-7164-1263